

家庭での子どもの 事故防止と緊急対応

埼玉医科大学総合医療センター

小児科名誉教授

田村正徳

特に日本では
子どもの
事故死が多い！

乳幼児に優しくない日本

日本は他の先進国に比べ、乳幼児や高齢者の交通事故や転落などの「不慮の事故」による死亡率が高いことが分かった。国立保健医療科学院の田中哲郎・生涯保健部長らが世界保健機関（WHO）の統計資料を基に比較した。田中さんは「社会的弱者への事故防止対策が、他国に比べて十分なのかも知れない」と指摘している。

（板井林太郎）

「不慮の事故」死 先進国で際だつ

0歳児では14カ国中3番目

比べたのは国内総生産（GDP）上位20カ国のうち、WHOの統計資料がない中国と韓国などを除いた14カ国で、いずれも先進国。01年ごろのデータで比べた。

例えば、0歳の不慮の事故による死亡率で日本は10万人当たり18・3人で14カ国中3番目に高かった。同じように1〜4歳は5番目に高く12・5%高かった。

高齢者でも日本は高率

になり、55〜64歳は14カ国中5番目で15・5%高、65〜74歳は3番目で40%高、75歳以上は6番目で2・3%高だった。

一方、5〜54歳の各年齢層では、14カ国中10〜13番目にむしろ低く、13カ国平均より2〜5割程度低かった。

日本の事故死率が他国より高いのは、0歳では転落や溺水、1〜4歳では転落や交通事故、高齢者では溺水、火災、交通事故だった。溺水や火災での死亡率は、全年齢層を総合しても低かった。

こどもの不慮の事故の 発生傾向と事故防止に向けた 取組等

こども家庭庁
成育局安全対策課

こどもまんなか
こども家庭庁

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/a024e65b-

I-2. こどもの不慮の事故における死因 ①

概要

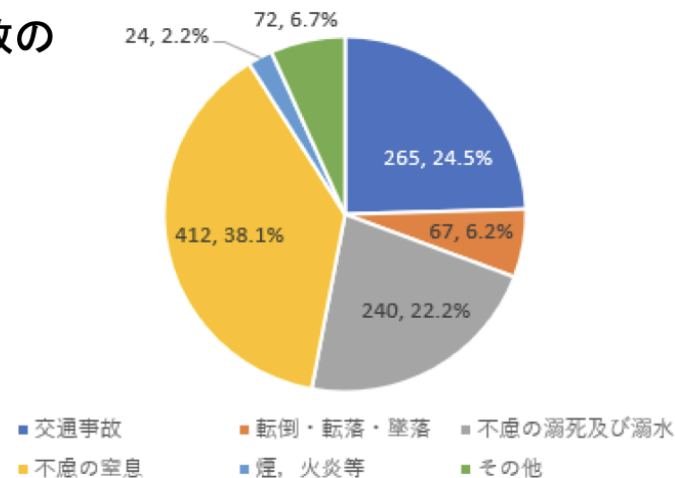
- ・こどもの不慮の事故死は、病気を含むすべての死因の中で上位にある。
- ・直近5か年における、こどもの不慮の事故は、「窒息」「交通事故」「不慮の溺水」が死因の上位にある。

《 2023年における死因(上位) 》

	0 歳	1～4 歳	5～9 歳	10～14歳
第1位	先天奇形, 変形及び染色体異常 464人	先天奇形, 変形及び染色体異常 143人	悪性新生物<腫瘍> 83人	自殺 120人
第2位	周産期に特異的な呼吸障害等 188人	悪性新生物<腫瘍> 57人	不慮の事故 46人	悪性新生物<腫瘍> 81人
第3位	不慮の事故 73人	不慮の事故 45人	先天奇形, 変形及び染色体異常 39人	不慮の事故 51人
第4位	胎児及び新生児の出血性障害 等 50人	心疾患 24人	インフルエンザ 22人	先天奇形, 変形及び染色体異常 39人
第5位	乳幼児突然死症候群 46人	新型コロナウイルス感染症 20人	その他の新生物<腫瘍> 14人 心疾患 14人	心疾患 20人

《 こどもの不慮の事故の 死因別死亡数 》

※ 直近5か年の累計

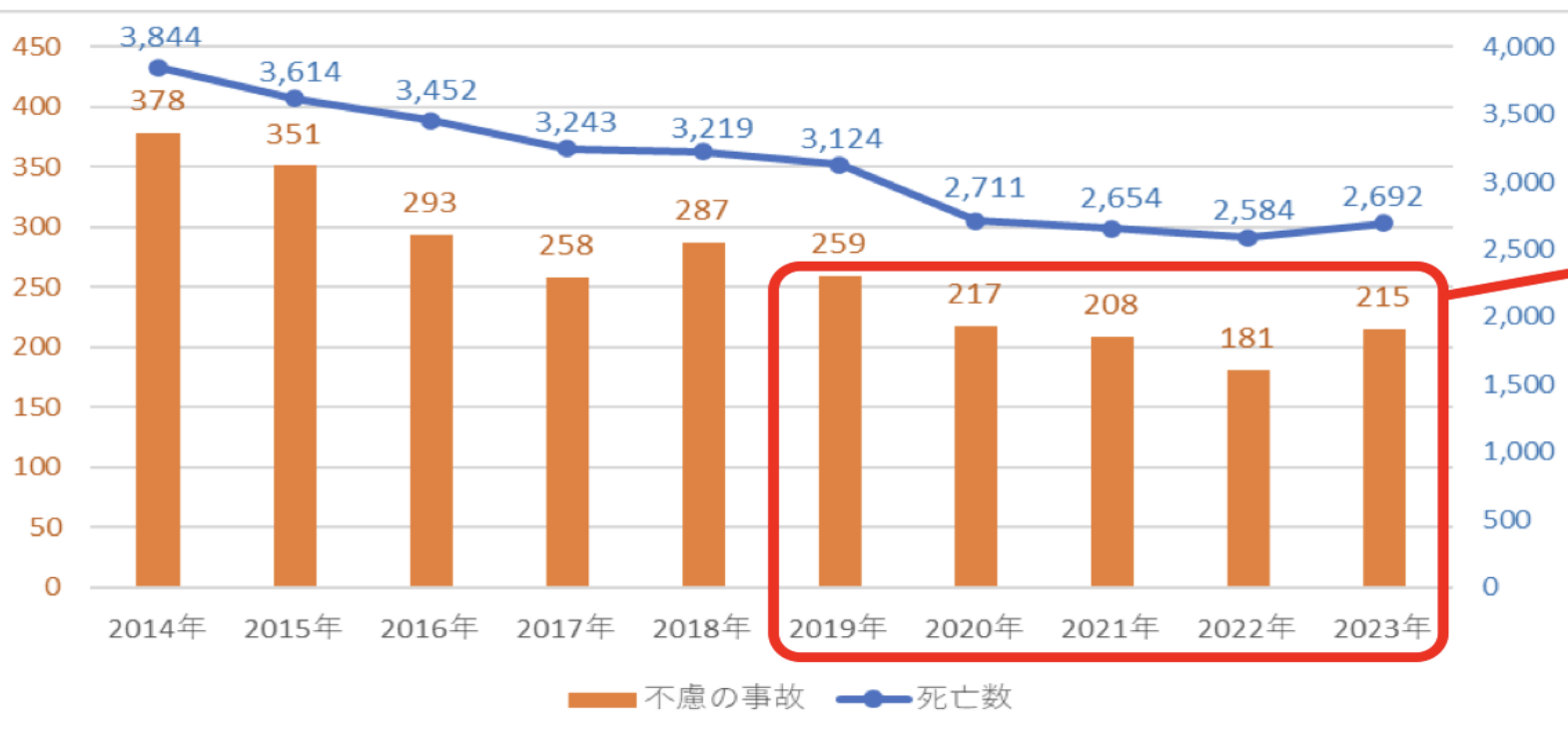


※ 人口動態調査(厚生労働省)を基に、
こども家庭庁で作成。

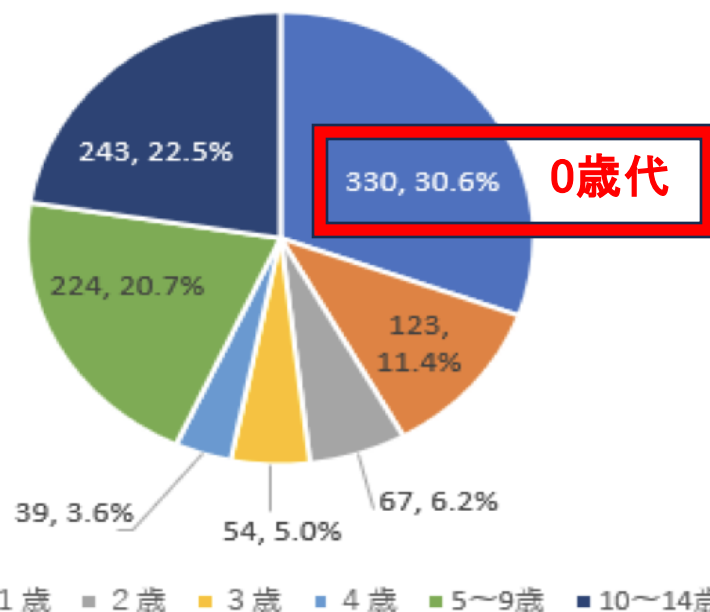
概要

- ・こども(0～14歳)の死亡数、不慮の事故によるこどもの死亡数は、ともに概ね減少傾向にある。
 - ・2023年における、こどもの死亡数は2,692人で、昨年と比べ108人増加。
 - 不慮の事故によるこどもの死亡数は215人で、昨年と比べ34人増加。こどもの死亡数の8.0%を占める。
- 直近5か年における、こどもの不慮の事故による死亡数を年齢別で見ると、0歳が330件で0～14歳の30.6%を占め、0～4歳で56.8%を占めている。

《 直近10年における死亡数の推移 》



《 不慮の事故による 年齢別死亡数・比率 》 ※ 直近5か年の累計

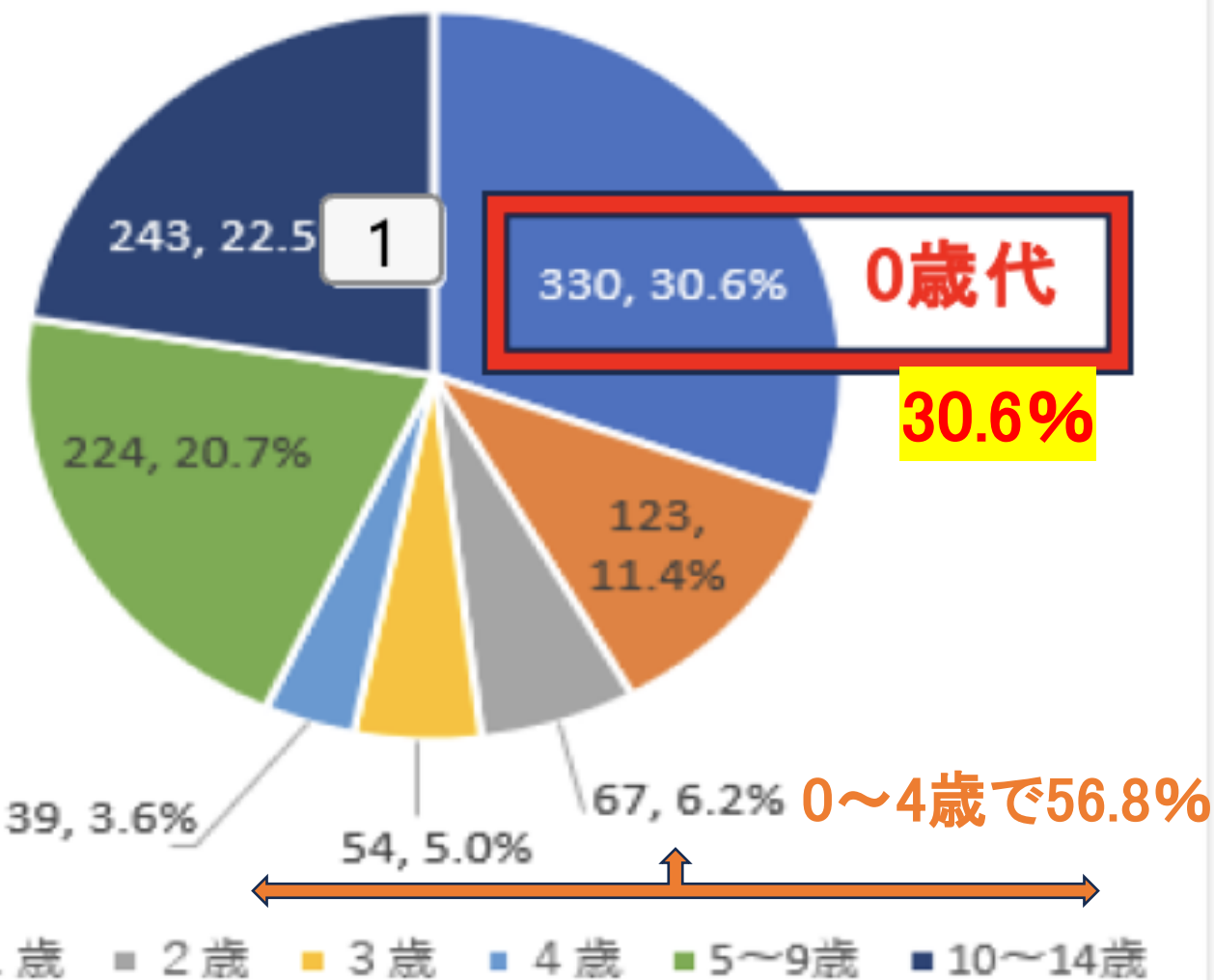


●厚生労働省
「人口動態調査」



《 不慮の事故による 年齢別死亡数・比率 》

※ 直近5か年の累計



・直近5か年における、
こどもの不慮の事故
による死亡数を年齢
別で見ると、

0歳が330件で0～14
歳の30.6%を占め、

0～4歳で56.8%を占
めている。

《 不慮の事故による死因の詳細（年齢別・上位） 》 ※ 直近5か年の累計による上位の状況

	0 歳 〔330人〕	1 歳 〔123人〕	2 歳 〔67人〕	3 歳 〔54人〕
第1位	窒息（ベッド内） 119人（36.1%）	交通事故 36人（29.3%）	交通事故 22人（32.8%）	交通事故 19人（35.2%）
第2位	窒息（胃内容物の誤えん） 78人（23.6%）	溺水（浴槽内） 19人（15.4%）	窒息（食物の誤えん） 8人（11.9%）	溺水（浴槽内） 5人（9.3%）
第3位	窒息（詳細不明） 24人（7.3%）	窒息（食物の誤えん） 14人（11.4%）	転落（建物又は建造物） 7人（10.4%）	溺水（自然水域内） 4人（7.4%）
第4位	窒息（その他の物体の誤えん） 22人（6.7%）	窒息（胃内容物の誤えん） 13人（10.6%）	窒息（胃内容物の誤えん） 7人（10.4%）	窒息（胃内容物の誤えん） 4人（7.4%）
第5位	交通事故 18人（5.5%）	窒息（その他の物体の誤えん） 11人（8.9%）	溺水（浴槽内） 5人（7.5%）	窒息（その他の不慮の首つり） 3人（5.6%）
	窒息（食物の誤えん） 18人（5.5%）			窒息（その他の物体の誤えん） 3人（5.6%）
				自然災害（熱中症） 3人（5.6%）

■ 窒息

□ 溺水

《 不慮の事故による死因の詳細（年齢別・上位） 》 ※ 直近5か年の累計による上位の状況

	4 歳 〔39人〕	5 ～ 9 歳 〔224人〕	10～14歳 〔243人〕
第1位	交通事故 14人 (35.9%)	交通事故 87人 (38.8%)	交通事故 69人 (28.4%)
第2位	転落（建物又は建造物） 9人 (23.1%)	溺水（自然水域内） 43人 (19.2%)	溺水（浴槽内） 43人 (17.7%)
第3位	溺水（その他） 3人 (7.7%)	溺水（浴槽内） 23人 (10.3%)	溺水（自然水域内） 39人 (16.0%)
第4位	溺水（浴槽内） 2人 (5.1%)	溺水（その他） 11人 (4.9%)	転落（建物又は建造物） 17人 (7.0%)
	窒息（胃内容物の誤えん） 2人 (5.1%)		
	窒息（食物の誤えん） 2人 (5.1%)	煙、火災等 11人 (4.9%)	
煙、火災等 2人 (5.1%)			
第5位			転倒（同一平面上） 8人 (3.3%)
			煙、火災等 8人 (3.3%)

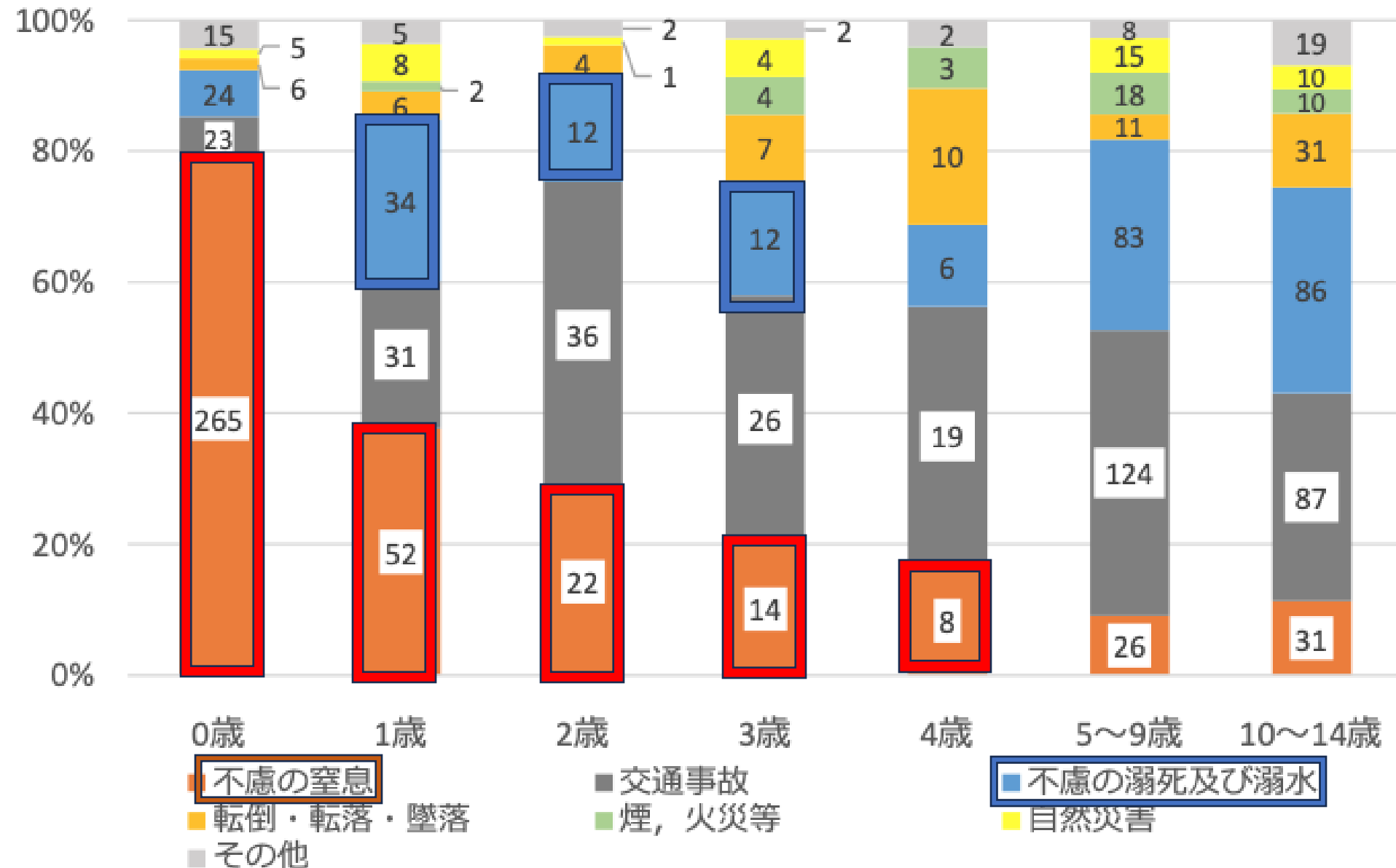
・「不慮の溺水」は浴槽内のほか、5歳以上で自然水域での事故が多い。

・「転倒・転落」は2歳、4歳、10～14歳で「建物からの転落」が多い。

■ 窒息

■ 溺水

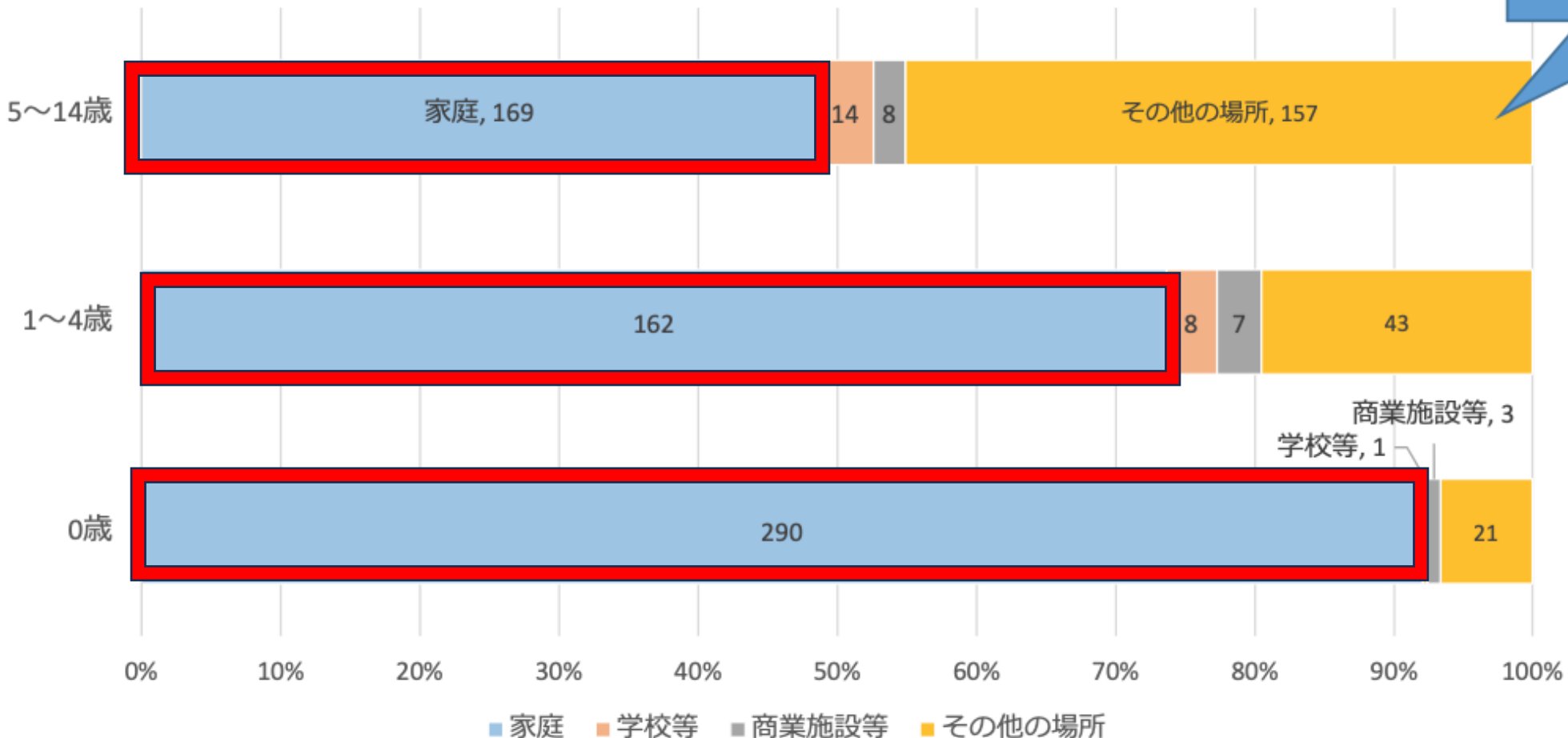
不慮の事故の死因別死亡者数（年齢別比率） （平成29年～令和3年）



平成29年～令和3年の5年間では、交通事故をのぞく事故発生場所は、家庭内がほとんどを占め、年齢が上がるにつれその他の場所の割合が増加。

年齢別の事故発生場所（平成29年～令和3年）

157件中、85件が海・川等自然水域での溺水事故



家庭内事故

乳幼児の場合は

交通事故よりも家庭内事故の割合が多い

(国民生活センターの調査)

- 誤飲、誤嚥
- 熱・高温物質との接触など
- 転倒・転落、
- 浴槽転落による溺死・溺水

I-2. (1) こどもの「不慮の窒息」事故 ①

発生傾向

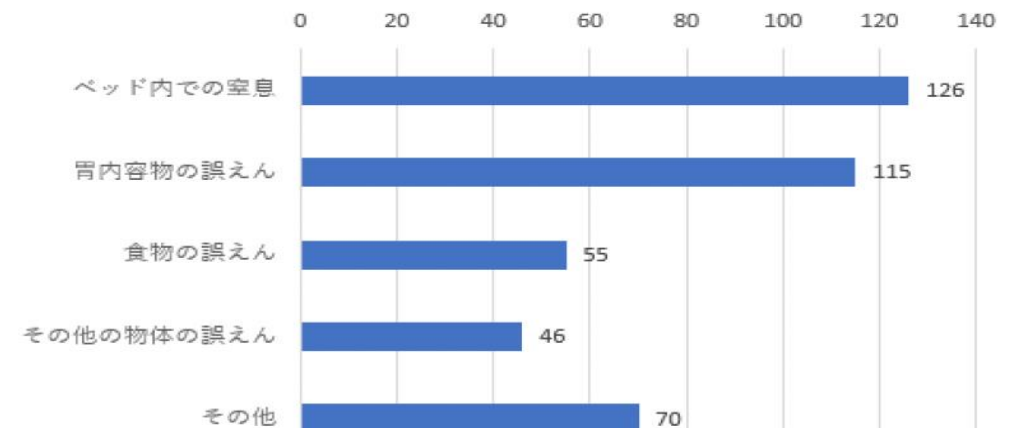
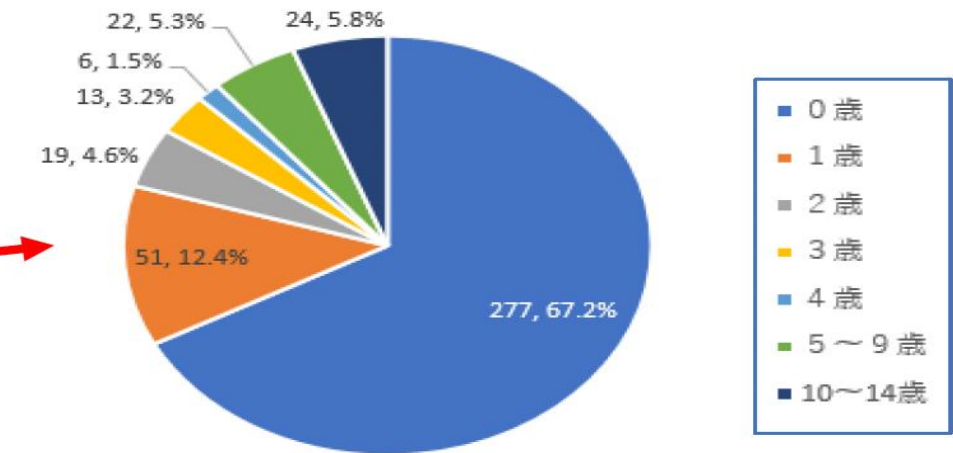
- ・「不慮の窒息」における死亡数(総数)のうち、こどもが占める割合は0.9%～1.2%の間で推移。
- ・こどもの「不慮の窒息」による事故は比較的低年齢層(特に0歳及び1歳)で多く発生。

《 直近10年における「不慮の窒息」の推移 》

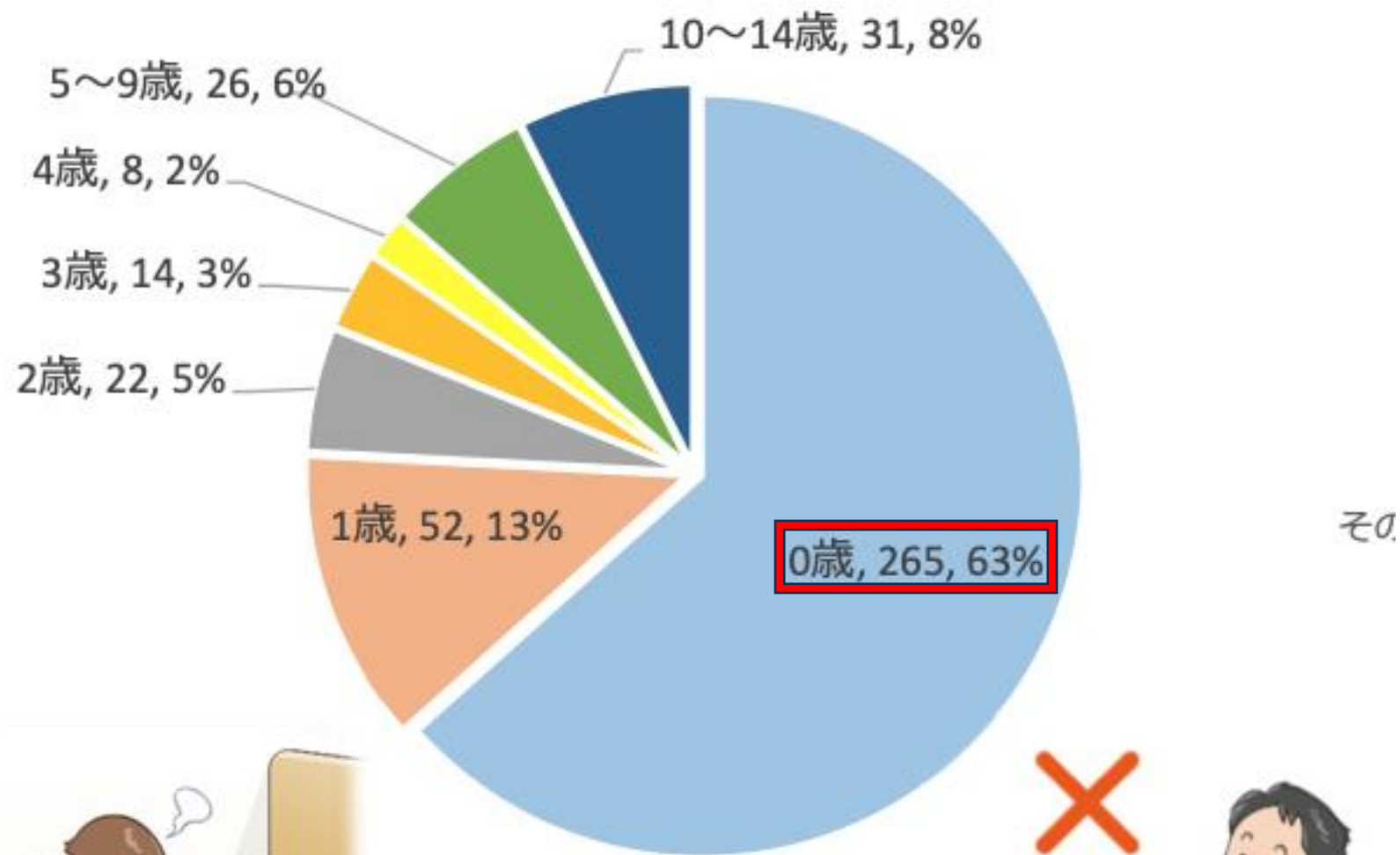


《 「不慮の窒息」の発生年齢と事故の原因 》

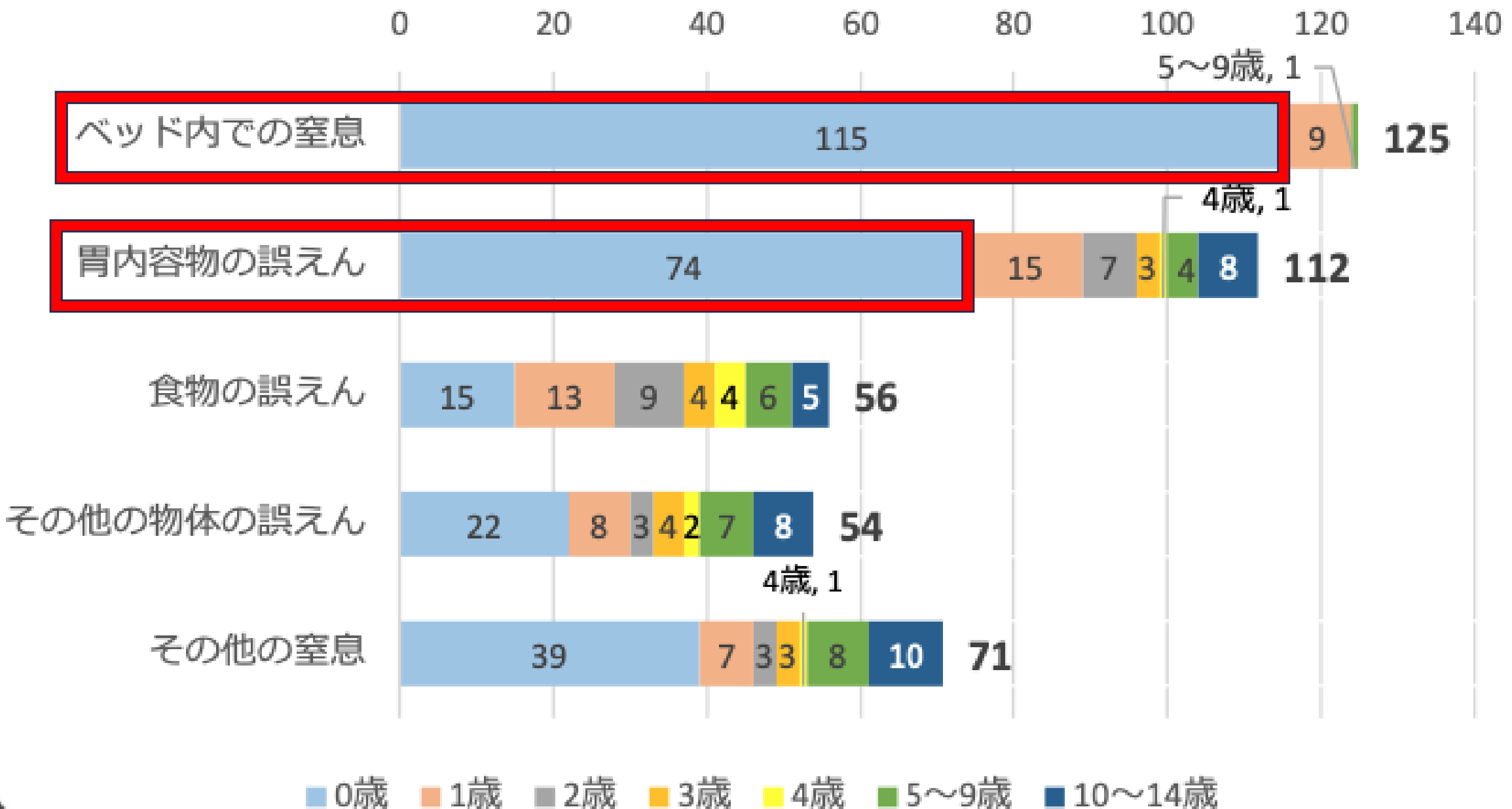
※ 直近5か年の累計



1) 窒息事故の発生年齢 (平成29年～令和3年)



2) 窒息事故の原因と年齢（平成29年～令和3年）

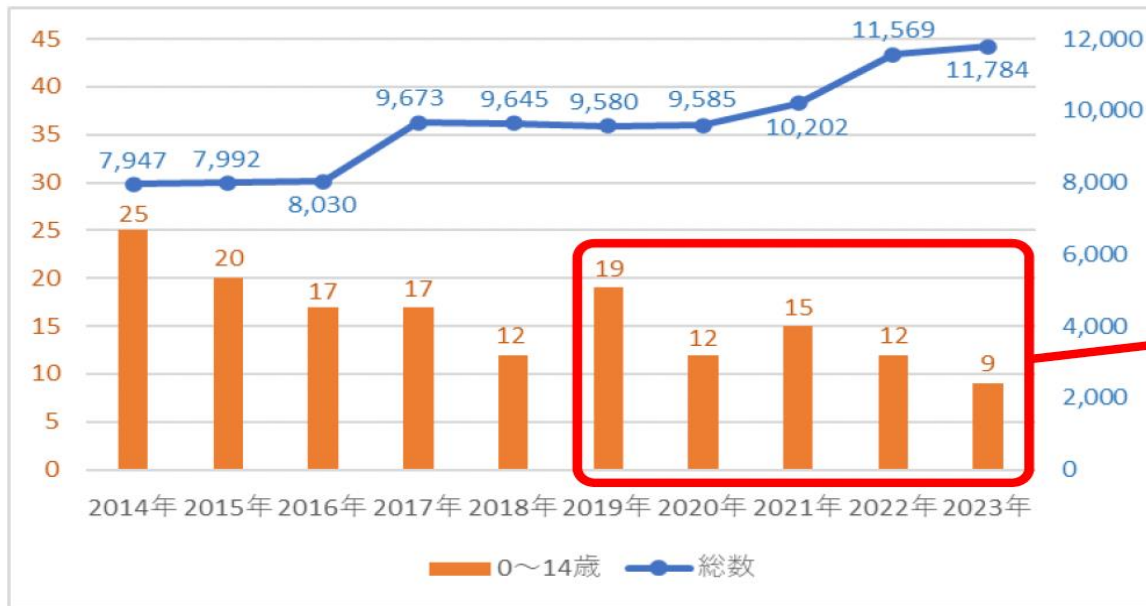


I-2. (4) こどもの「転倒・転落」事故 ①

発生傾向

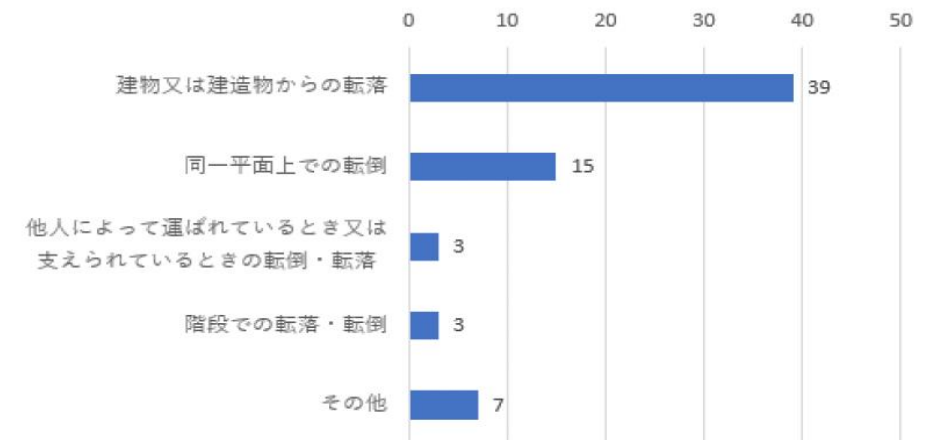
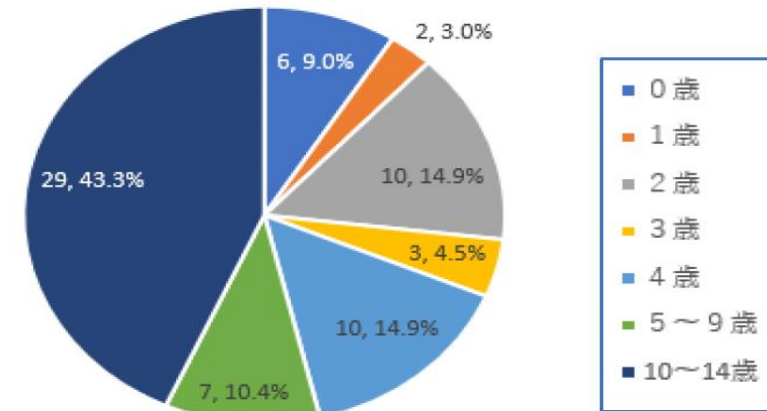
- ・「転倒・転落」における死亡数(総数)のうち、こどもが占める割合は0.1%~0.3%の間で推移。
- ・こどもの「転倒・転落」は、建物又は建造物からの転落が最も多く、同一平面上での転倒も発生。

《 直近10年における「転倒・転落」の推移 》



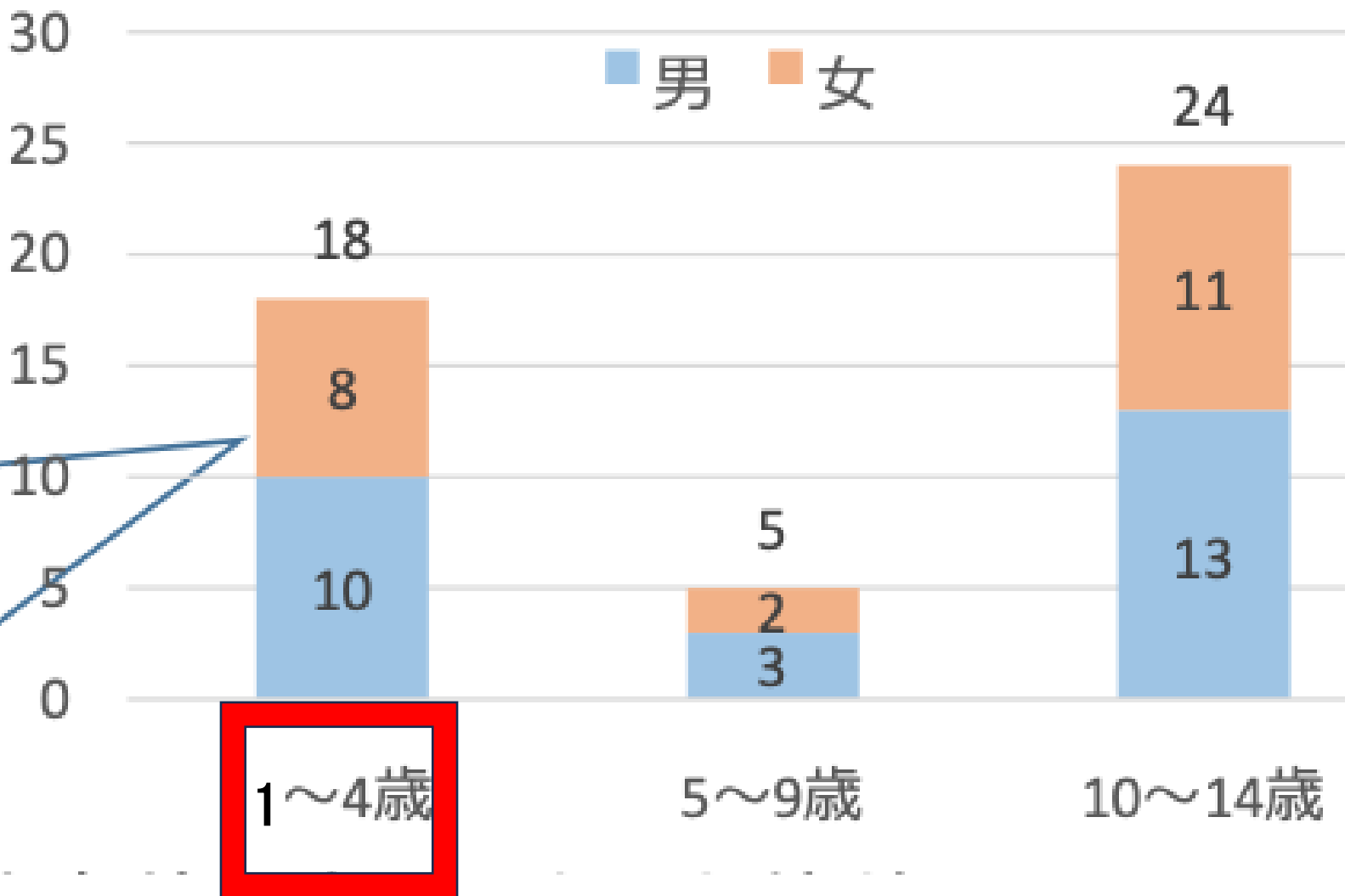
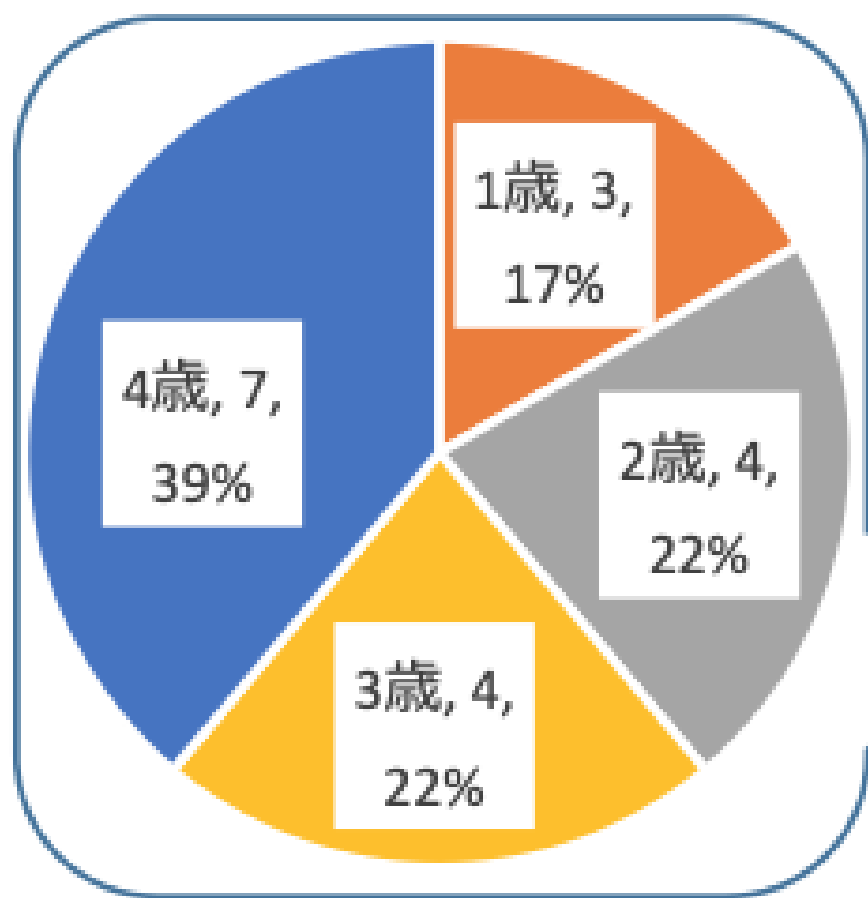
《 「転倒・転落」の発生年齢と受傷時の状況 》

※ 直近5か年の累計

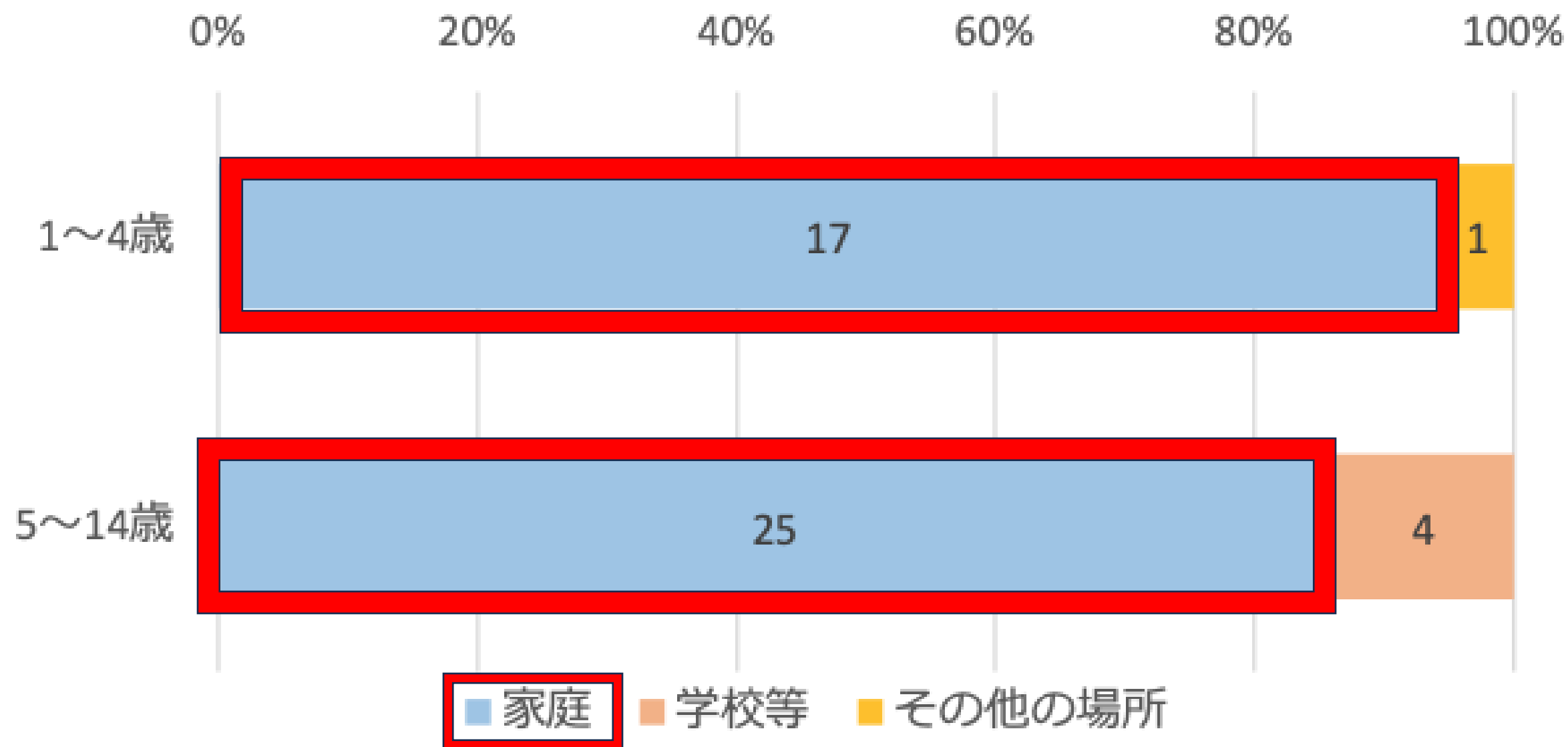


1) 建物からの転落事故の発生年齢・性別

0歳, 0, 0% (平成29年～令和3年)



3) 建物からの転落事故発生場所（平成29年～令和3年）



I-2. (3) こどもの「不慮の溺水」事故 ①

発生傾向

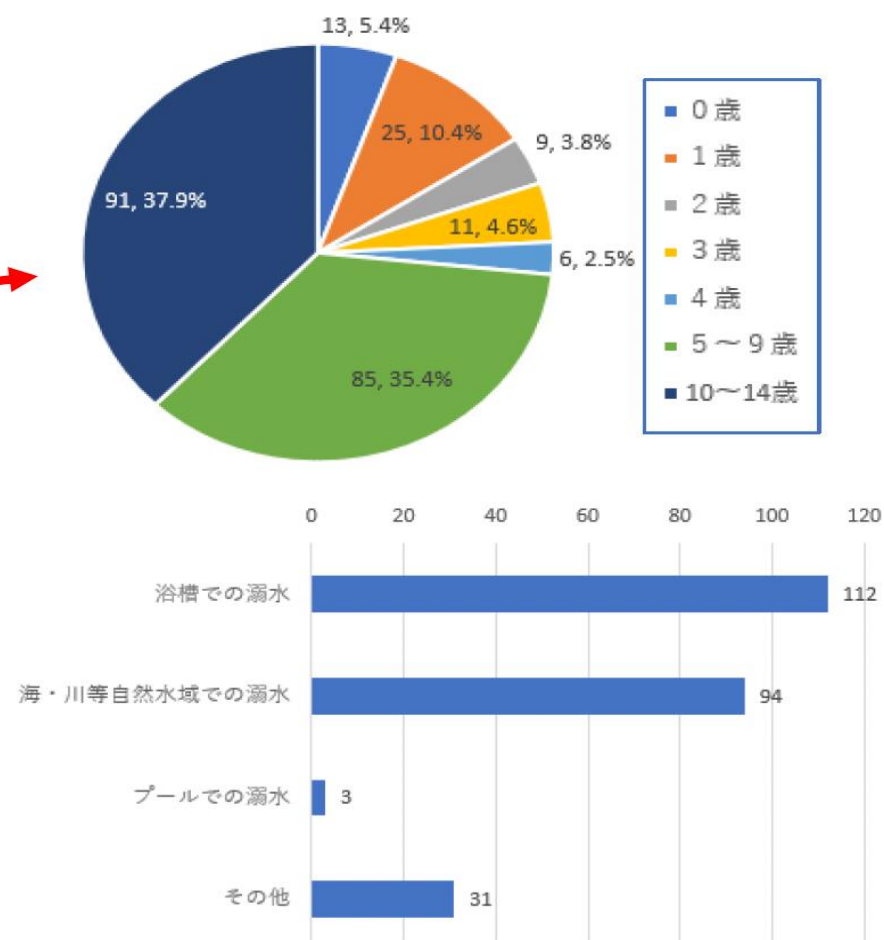
- ・「不慮の溺水」における死亡数(総数)のうち、こどもが占める割合は0.4%～1.2%の間で推移。
- ・こどもの「不慮の溺水」は、浴槽での溺水が最も多く、次いで海・川等自然水域での溺水が多く発生。

《 直近10年における「不慮の溺水」の推移 》

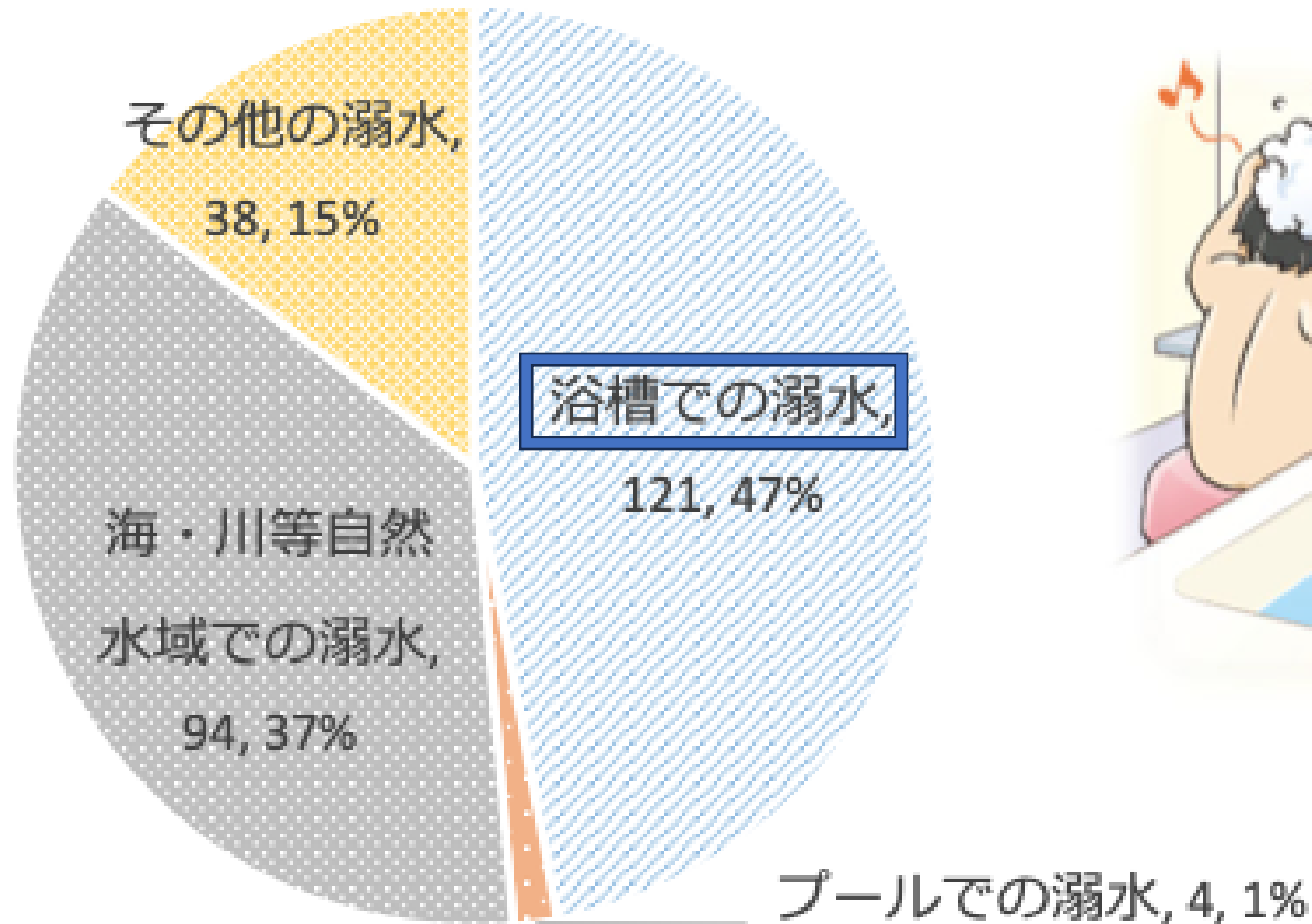


《 「不慮の溺水」の発生年齢と事故の原因 》

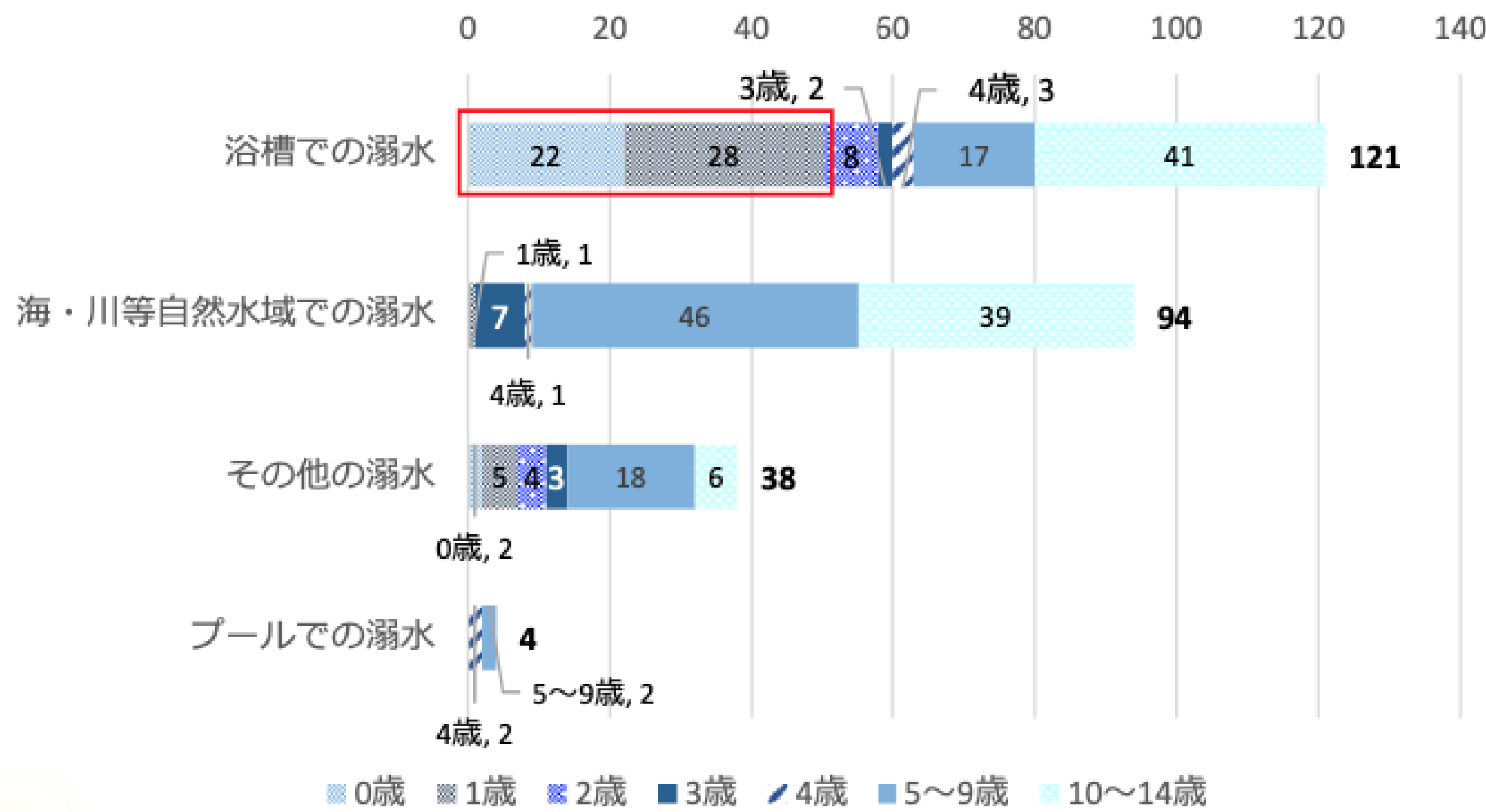
※ 直近5か年の累計



2) 溺水事故の発生場所 (平成29年～令和3年)



3) 溺水事故の年齢及び場所別発生件数（平成29年～令和3年）



三)

室内での事故

場所と

年齢によって

起こりやすい事故は異なってくる

発達の目安		誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
			首がすわる 足をパタパタさせる			離乳食を始める 寝返りをうつ		一人座り	ハイハイをする	つかまり立ち		一人歩き 走る	階段を登り降りする その場でジャンプ 高い所へ登れる					
主な起こりやすい事故	窒息・誤飲事故	<就寝時の窒息事故> ・うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる ・掛布団、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイなどで窒息 ・ベッドと壁の隙間などに挟まれる ・家族の身体の一部で圧迫される ・ミルクの吐き戻しによる窒息 4ページ																
		・食事中に食べ物で窒息 ・おもちゃなどの小さなもので窒息 ・ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲 ・医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲 ・たばこ、お酒などの誤飲 ・包装フィルム・シールなどの誤飲 5ページ															5ページ	
		・ブラインドやカーテンのひもなどによる窒息 4ページ															4ページ	
	転落・転倒事故	・大人用ベッドやソファからの転落 ・ベビーベッドやおむつ替えの台からの転落 6ページ																
		・抱っこひも使用時の転落 ・ベビーカーからの転落 7ページ																
		・椅子やテーブルからの転落 6ページ																
		・階段からの転落、段差での転倒 6ページ																
	・ベランダなどからの転落 ・窓や出窓からの転落 ・ショッピングカートからの転落 7ページ																6ページ	
	・遊具(すべり台、ジャングルジム、ブランコなど)からの転落 ・ペダルなし二輪遊具、キックスクーター等での転倒 7ページ																7ページ	
	車・自転車関連の事故	・チャイルドシート未使用による事故 ・車内での熱中症 8ページ																
・車のドアやパワーウィンドウに挟まれる事故 8ページ																		
・こども乗せ自転車での転倒 ・自転車に乗せたこどもの足が後輪に巻き込まれる、スポーク外傷 8ページ																		
水まわりの事故	・道路上などでの事故 9ページ																	
	・入浴時に溺れる 10ページ																	
	・浴槽へ転落し溺れる ・洗濯機、バケツや洗面器などによる事故 10ページ																	
やけど	・ビニールプールやプールなどでの事故 10ページ																	
	・海や川での事故・ため池、用水路、排水溝、浄化槽での事故 10ページ																	
挟む・切る・その他の事故	・お茶、みそ汁、カップ麺などでのやけど ・電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど ・調理器具やアイロンでのやけど 11ページ																	
	・暖房器具や加湿器でのやけど 11ページ																	
	・ライター、花火によるやけど 11ページ																	
挟む・切る・その他の事故	・エスカレーター、エレベーターでの事故 13ページ																	
	・テーブルなどの家具で打撲 12ページ																	
	・カミソリ、カッター、はさみなどの刃物やおもちゃでのけが 12ページ																	
	・小さなものを鼻や耳に入れる 12ページ																	
	・キッチン付近で包丁、ナイフでのけが ・ドアや窓で手や指を挟む ・タンスなどの家具を倒して下敷きになる ・ドラム式洗濯機での事故 12ページ																	
	・歯磨き中に歯ブラシでの喉突きなどの事故 ・機械式立体駐車場での挟まれ事故 12ページ 13ページ																	

場所

1歳までは居間での事故が多発!!

とくに誤飲や窒息の事故に注意が必要です。直径39mmより小さいものは誤飲の恐れがあるので子どもの手の届かない1m以上の高さの所に片付けましょう。



タバコの
誤飲事故
が多い

リビングでの危険

場所

台所では やけどの事故が多い！

やけどの原因となる熱源がたくさんあります。
台所には簡単に入れないように柵をつけたり、熱くなる物は手の届かない高さの所に置きましょう。

浴室での危険

誤飲 やけど おぼれ 転落

転落 けが

階段での危険

台所での事故

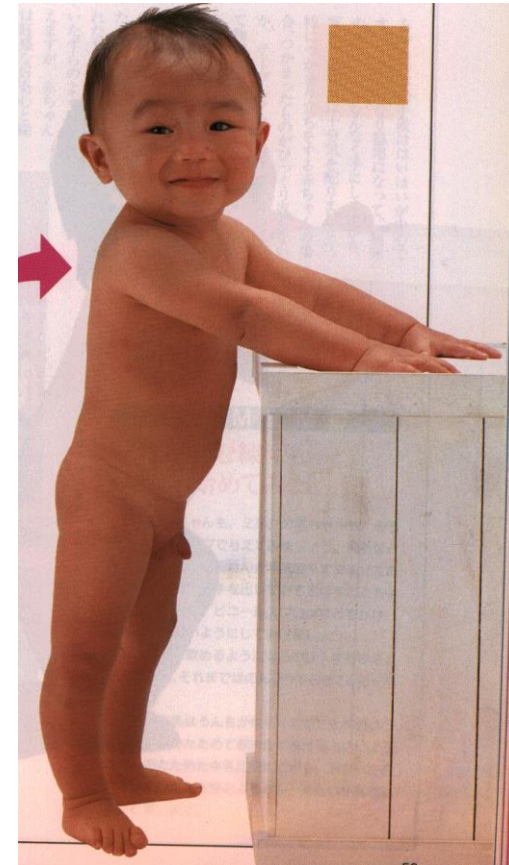


溺れの事故は危険度が高い！

小さい子どもがいる家庭では浴槽に残し湯をしないこと、浴室には簡単に入れない工夫を。
ハイハイができるようになると階段からの転落事故が。
階段には上り口には柵をつけるなどの対策をしましょう。

赤ちゃんの発達に応じて危険物のチェックを！

年齢



6ヶ月未満児でリスクの高い事故

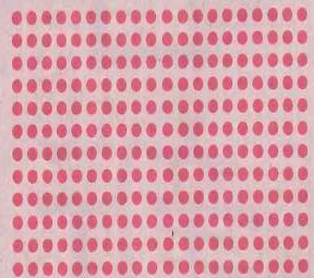
- **睡眠中の事故**

- お母さんの抱っこ中の事故

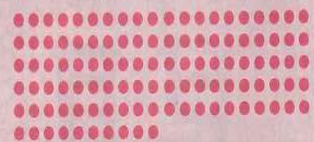
- 何でも口に入れてしまう

解剖記録でみる
14歳以下の
子どもの主な事故
(05～14年)

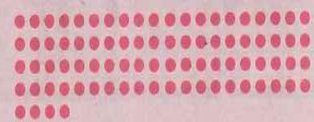
うつぶせ寝 240件



添い寝 110件



寝具による窒息 84件



ベッドなどに
挟まる 24件



子どもの成長によって リスクは変わってくる

赤ちゃん 主に0歳

睡眠中の事故が多い



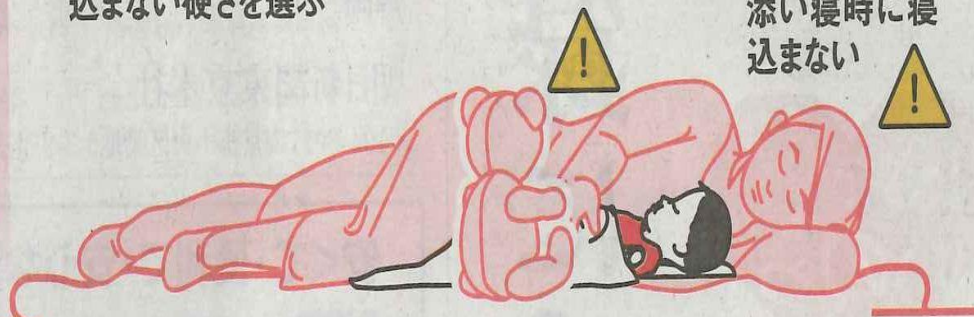
防ぐには…

- 乳児が寝ている上にモノをつるさない
- 乳児用ベッドの柵はいつも上げる
- 敷布団は、顔が潜り込まない硬さを選ぶ



乳児期には、うつぶせ寝は避ける

寝ているそばに、乳児の口を覆うようなものを置かない

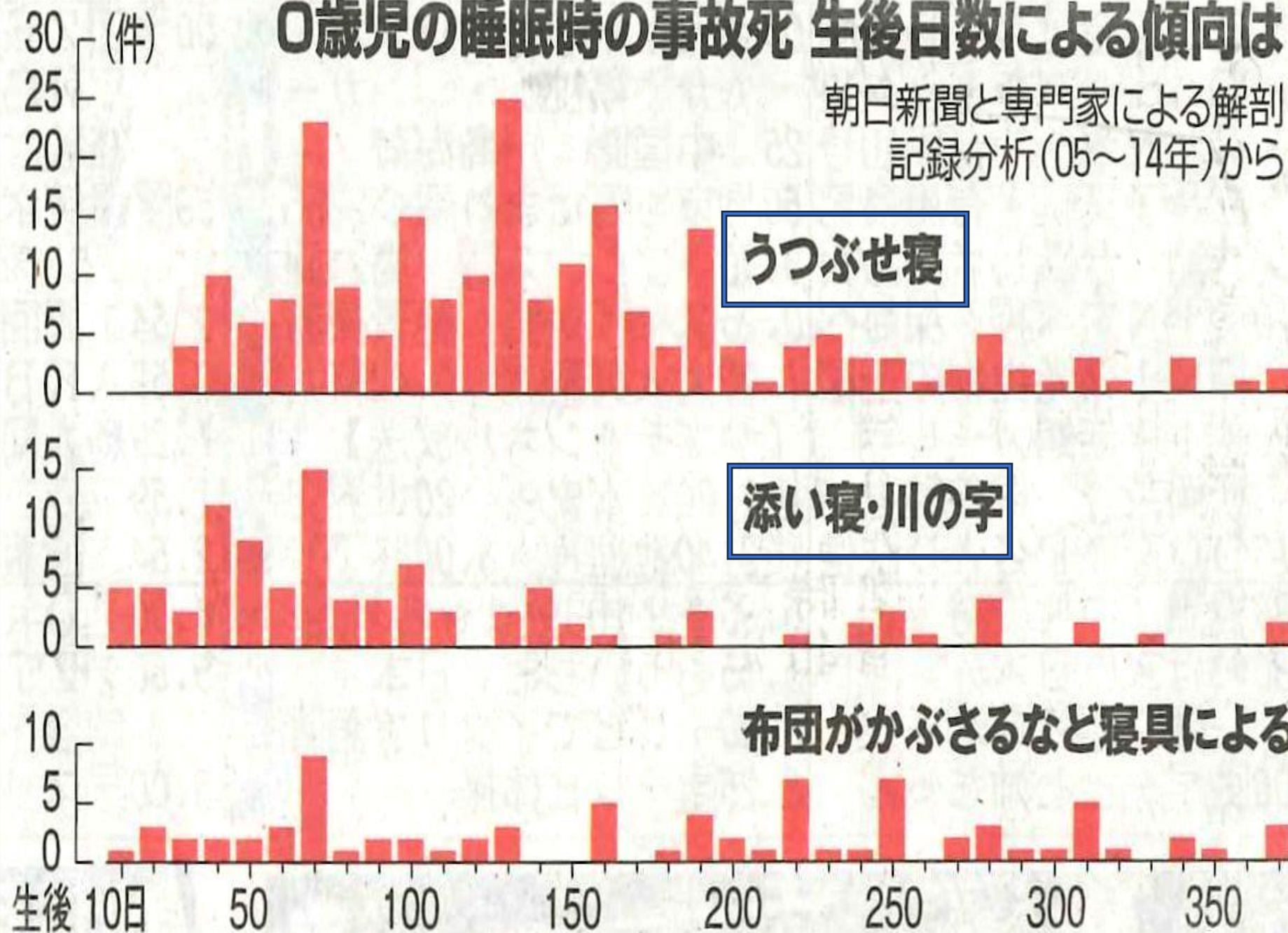


添い寝時に寝込まない

朝日新聞 2016
年9月24日社会面

0歳児の睡眠時の事故死 生後日数による傾向は

朝日新聞と専門家による解剖
記録分析(05~14年)から



睡眠時窒息

赤ちゃんを
寝かせる時
の注意は…



マットレスと
壁の間に隙間を
つくらない



やわらかい寝具は避け、
ベビー用の硬めのものを



添い寝時に一緒に
寝込まないように
気をつける



うつぶせ寝は
避けるように
する

事例：うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる



防止対策

1. 大人用ベッドではなく、できるだけ**ベビーベッド**に寝かせ、**敷布団**やマットレス等の寝具は**硬め**のものを使用しましょう。
2. 1歳になるまでは、寝かせる時は、**あお向け**に寝かせましょう。
3. 枕元にタオルなど、窒息の原因となるような物は置かない。

事例： 掛布団、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイ（よだれかけ）
で窒息



防止対策

1. 掛布団は、こどもが払いのけられる軽いものを使用し、顔にかぶらないようにしましょう。
2. 寝ているこどもの顔の近くに、口や鼻を覆ったり、首に巻き付いたりする物は置かないようにしましょう。

事例： 家族の身体の一部で圧迫される



防止対策

寝かしつけの時に、添い寝をして意図せず寝込んでしまう、また同じ寝具で就寝している際に大人の身体の一部で圧迫してしまわないように、できるだけベビーベッドに寝かせましょう。

大人用ベッドに赤ちゃん ダメ！

大人用ベッドに赤ちゃん ダメ！

朝日新聞
2017/11/9

大人用ベッドから0～1歳児が転落する事故が相次いでいるとして、消費者庁は8日、ベッドを使う場合は、柵があるベビーベッドに寝かせるように注意を呼びかけた。

消費者庁が医療機関（今年10月時点で23機関）から寄せられた事故報告を調べたところ、2010年12月～今年6月、0～1歳児が大人用ベッドから転落した事故は564件あった。うち死亡事故は1件で、0歳児がベッドから落ちて壁との間に挟まり、窒息死した。また、寝返りして床に落ちて頭蓋骨（ずがいこつ）を骨折するなどし、入院したケースも19件あった。

壁との隙間で窒息・転落し骨折

乳幼児が大人用ベッドから転落する例



幼児用ベッドガードを設置しても、マットレスとガードの隙間に挟まって窒息する危険もある。消費者庁は「ベッドガードは生後18カ月未満の乳幼児には使わないで」と呼びかけている。

朝日新聞2017/11/9

事例： ベッドと壁の隙間などに挟まれる



防止対策

1. 寝ている間に動き回り、大人用ベッドと壁や後付け柵の隙間などに頭や顔が挟まるなどしないよう、できるだけベビーベッドに寝かせましょう。

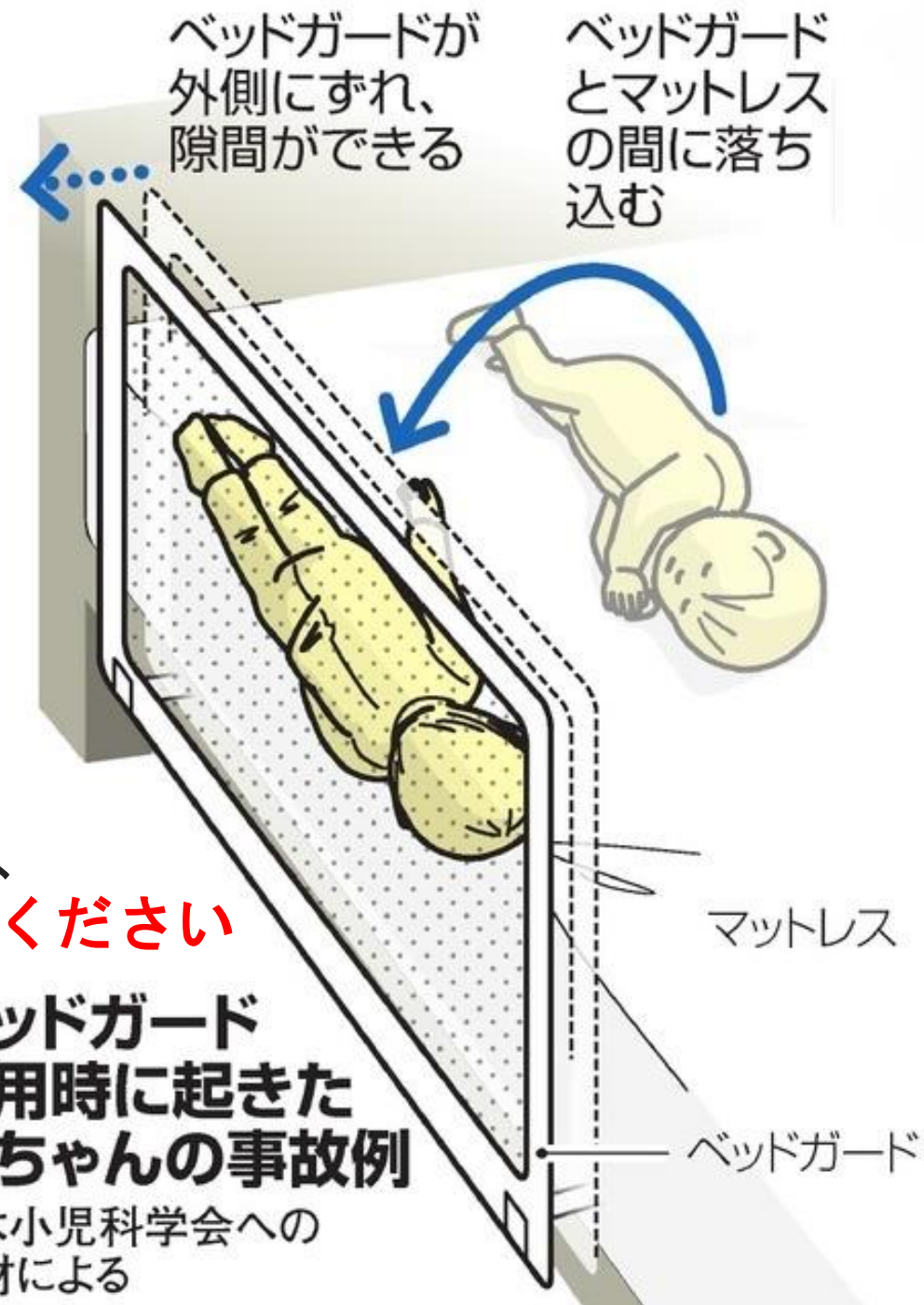
大人用ベッドでガード 乳児注意 マットレスとの間に挟ま る死亡事故

防止対策

大人用ベッドに取り付ける幼児用ベッドガードは、
生後18か月未満の乳幼児には絶対に使用しないでください

朝日新聞2017年9月8日

ベッドガード
使用時に起きた
赤ちゃんの事故例
日本小児科学会への
取材による



ベッド柵で乳児死亡 賠償命令

地裁判決「メーカー警告不十分」

生後9カ月の長男がベッド側面に取り付ける転落防止用の柵「ベッドガード」とマットレスの間に挟まれて死亡した事故を巡り、両親がベビー用品メーカー「カトージ」（愛知県犬山市）に計約9300万円の

損害賠償を求めた訴訟の判決で、東京地裁（西村康一郎裁判長）は22日、製品の設計に欠陥はないが、使用警告の表示が不十分だったとして計約3500万円の賠償を命じた。

ベッドガードは、柵の下

部をベッド枠とマットレスの間に差し込んで使う。判決などによると、2017年8月、東京都世田谷区の自宅寝室で眠っていた長男が、ベッドガードとマットレスの間に挟まれているのを母親が発見。息をしておらず、搬送先の病院で死亡が確認された。

判決は使用警告について、説明書や外箱に「18カ月未満には適しておらず、

絶対に使用しないでください」と記載があったものの、本体には表示しておらず「警告としては不十分だ」と結論付けた。設計の欠陥に関しては、そもそもベッドガードが説明書通りに設置されていなかったなどとして認めなかった。

父親は判決後に記者会見し「当事者としては構造に違和感があったので、そこが評価されず残念」とした。

寝室での**防止対策**

- 顔や身体が沈み込むような寝具は使わない
- ベビーベッドの柵は上げておく。
- ベビーベッドの柵の中にお人形やふわふわ枕は入れない。
- 大人のベッドには寝かせない。
- うつぶせ寝は避ける。
- 1歳までは添い寝は避ける。
- 18ヶ月未満ではベッドガードも危険

米國小児科学会の推奨：腹臥位は乳幼児突然死症候群の危険因子で回避
→頭蓋変形症増加→対応策：**Tummy time: 家族が観察できる時に腹臥位**



腹ばいにして遊ぶときは固い床で大人が目を離さない！

抱っこ紐事故

抱っこひもの事故の例

※親が前かがみになり落下



※ひもがゆるんだり、着脱したりする時にすき間から落下



6ヶ月未満児でリスクの高い事故

- 睡眠中の事故
- お母さんの抱っこ中の事故

- 何でも口に入れてしまう

異物の誤嚥による窒息や誤飲トラブル



何でもお口に！！

ボタン電池

機器から取り出しての誤飲が6割

すぐに受診 **同じものを持参**

穴が開くことも！総合病院を受診。



磁石

複数で穴が開くことも！

すぐに受診



藥

誤飲第2位は医薬品

すぐに受診 **同じものを持参**



基本的に吐かせないで同じものがあれば持参してください。

たばこ

電子タバコはニコチンが濃縮！

すぐに受診 量・種類・内容



洗剂

機器から取り出しての誤飲が 6 割

すぐに受診 同じものを持参

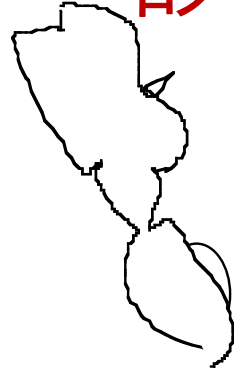


丸くつるつるした食品

3才以下は食べさせない or 小さく砕く



誤嚥や誤飲事故



タバコ

ピーナッツなどの豆類。



おもちゃやアクセサリー
直径3-4cm位の筒でチェックする。

❗ 赤ちゃんの誤飲ナンバー1はタバコ

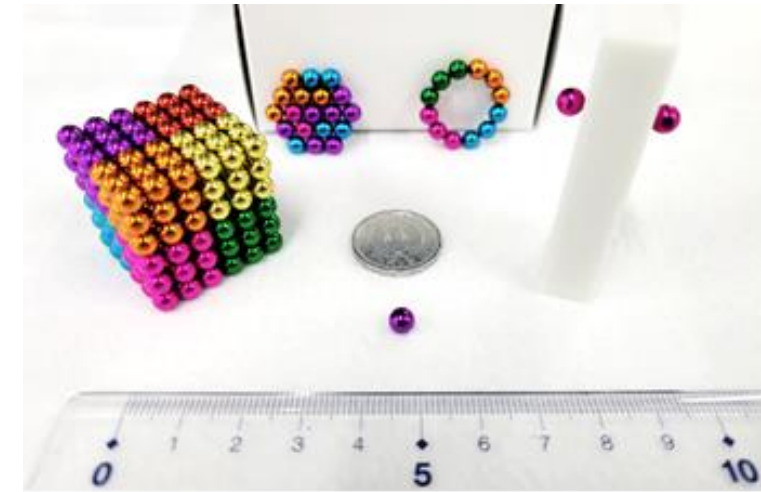


厚生労働省の調査で、誤飲事故の原因となった製品として、タバコが最も多いことが判明。タバコは体に有害な物質が多く含まれ、死に至ることもあります。**タバコに関するものは、すべて乳幼児から遠ざけましょう。**

**灰皿に水を入れるのは火災予防には良いが赤ちゃんが飲み込んだら致命的な危険性
加熱式タバコも金属片が入っているものもある→口腔内損傷のリスクも！**

乳幼児が口に入れると危険な異物

- **たばこ**は、こどもの目に触れない場所や、手の届かない場所に。空き缶や空き瓶に捨てない。
- **医薬品**、**食洗剤**や**化粧品**、**入浴剤**などは、こどもの手の届かない場所に保管。
- **ボタン電池**の誤飲は、重症事故に。ボタン電池を利用している器具は、電池が取り出せないようカバーを固定。
- **複数の磁石**の誤飲は、磁石が腸壁を挟んでくっつき消化管穿孔や腸閉塞などを起こす。
- **樹脂製の吸水ボール**の誤飲により、腸閉塞などを起こす。



ネオジム磁石製のマグネットセットの例



吸水樹脂ボールの例

(画像：国民生活センター)

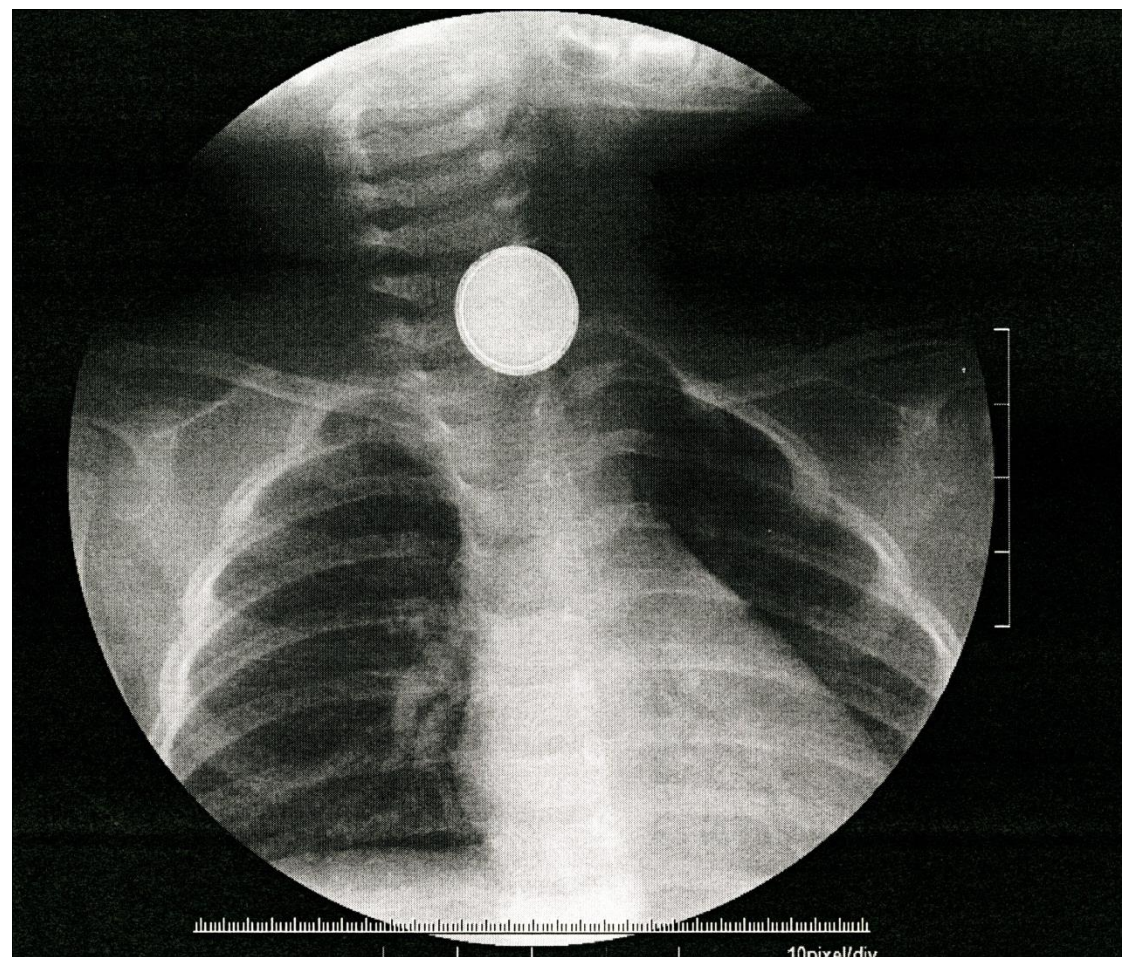
食道異物の事例

【患児】 1歳 女児

【現病歴】

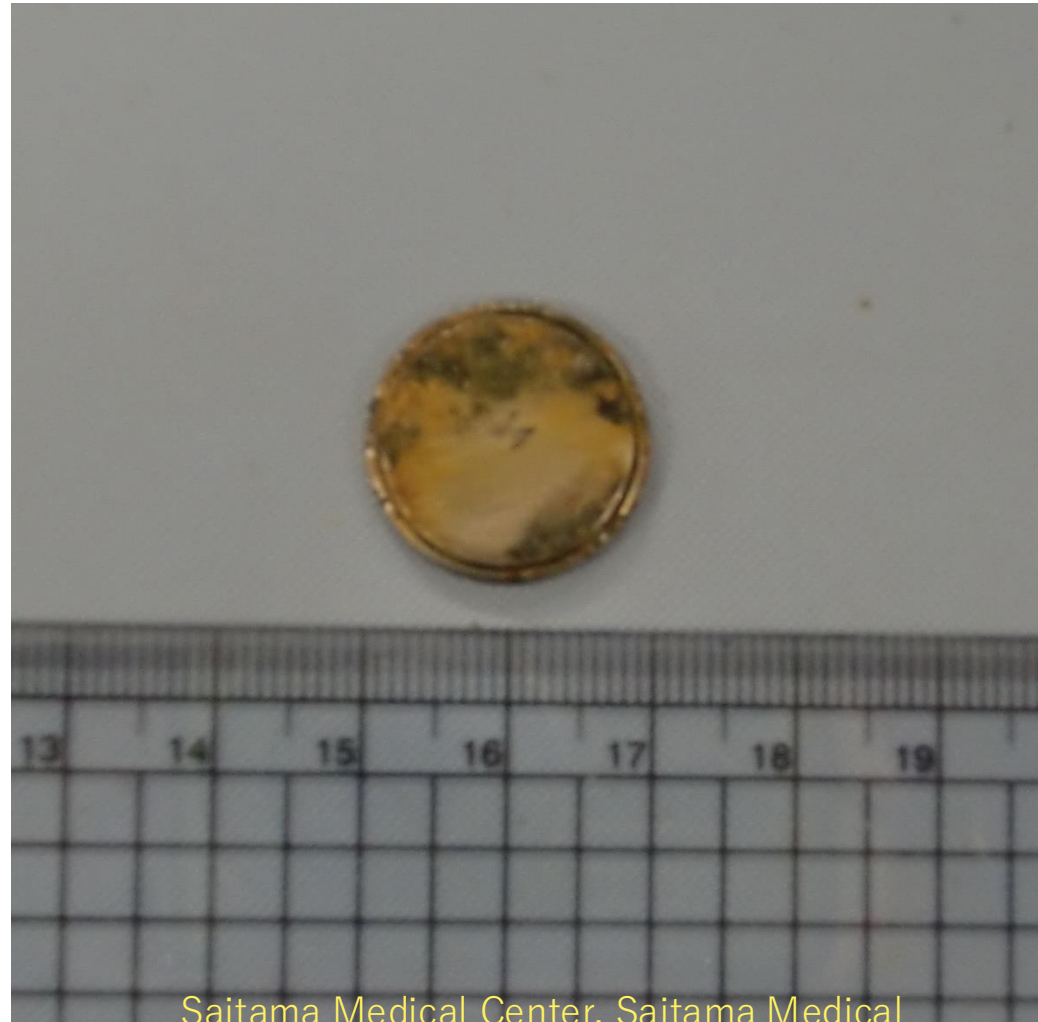
○月△日9時頃におもちゃから取り出したボタン電池を飲んだのに気が付いた。H病院へ搬送。フォリーカテールで除去できず、埼玉医科大学総合医療センターへ搬送依頼。当院搬送後、小児外科にてマグネットカテールにて除去を試みるも除去できず。13時頃フォリーカテールにて抜去（4時間後）。複数回試みてやっと抜去できた。食道への接着性強く、抜去困難であった。

リチウム電池 食道上部に位置



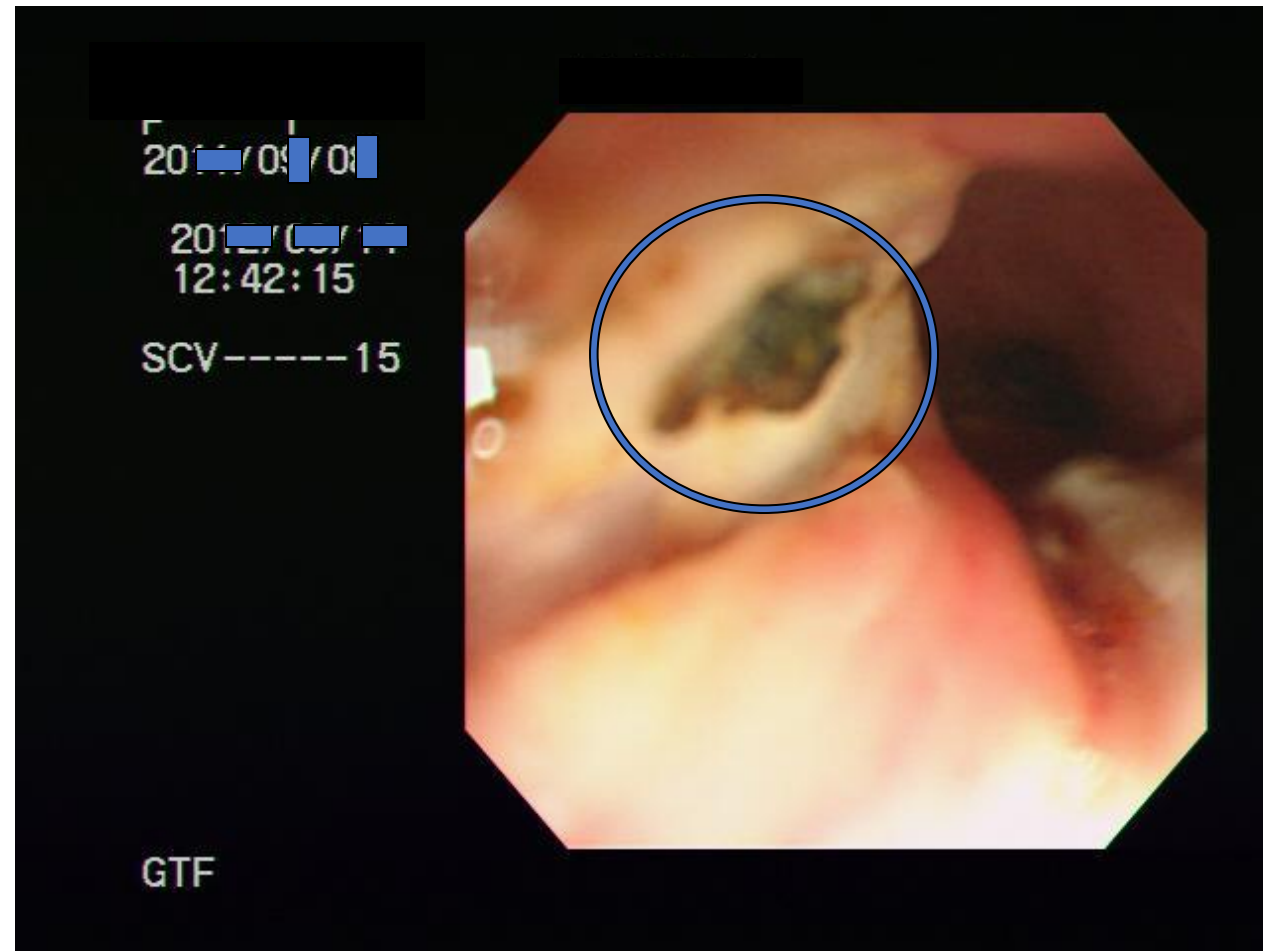
Saitama Medical Center, Saitama Medical
University

リチウム電池 腐食強い 裏



Saitama Medical Center, Saitama Medical
University

内視鏡所見



子のボタン電池誤飲 939件

東京慈恵会医大など

おもちゃやリモコンなど小型の電気製品に使われるボタン電池を子どもが誤ってのみ込む事故が、2015年までの5年間に国内で939件に上ることがわかった。このうち15件は電池を取り出しても食道の粘膜に穴が開き、後遺症が残るなど重症例だった。東京慈恵会医科大学小児外科などの研究チームは「電池をのみ込んだかも、と思った時は迷わず医療機関を受診して」と呼びかけている。

今年1月、東京慈恵医大と電池工業会が、初めて全国の医療機関を調査。小児外科医らがいる全国の202医療機関に調査票を郵送し、11～15年の誤飲事故について、①電池の種類②電池が見つかった部位③摘出方法④回復の見通しや結果を尋ねた。116施設から回答があった。

調査結果によると、5年間の誤飲事故は、アルカリ電池などの「ボタン形」が806件、よ

15年までの5年間 食道の粘膜に穴 重症15件

り電圧が高いものもあるリチウム電池の「コイン形」が133件。重症例15件は、コイン形が14件、ボタン形が1件で、見つかった場所は食道だった。一般的にコイン形の方がボタン形より大きく、食道が細い子どもは入りつきやすい。子どもの食道は粘膜が薄く、はりつくと30分～1時間でただれ、2時間程度で穴が開くことがある。

重症例のうち13件は全身麻酔をかけて内視鏡で取り出したが、残る2件は手術をして取り出した。手術をした場合、その後、食道が狭くなつて食べ物のみ込みにくくなり、手術を繰り返すなど治療が長期化することもある。

東京慈恵医大の金森大輔医師は「電池を捜している間に重症化しかねない。急いで病院を受診してほしい」と話す。研究チームは、医療機関を通じて保護者らに危険を周知する方針。海外では死亡例もあることから、事故の登録制度づくりを国に求めたいという。

(寺崎省子)

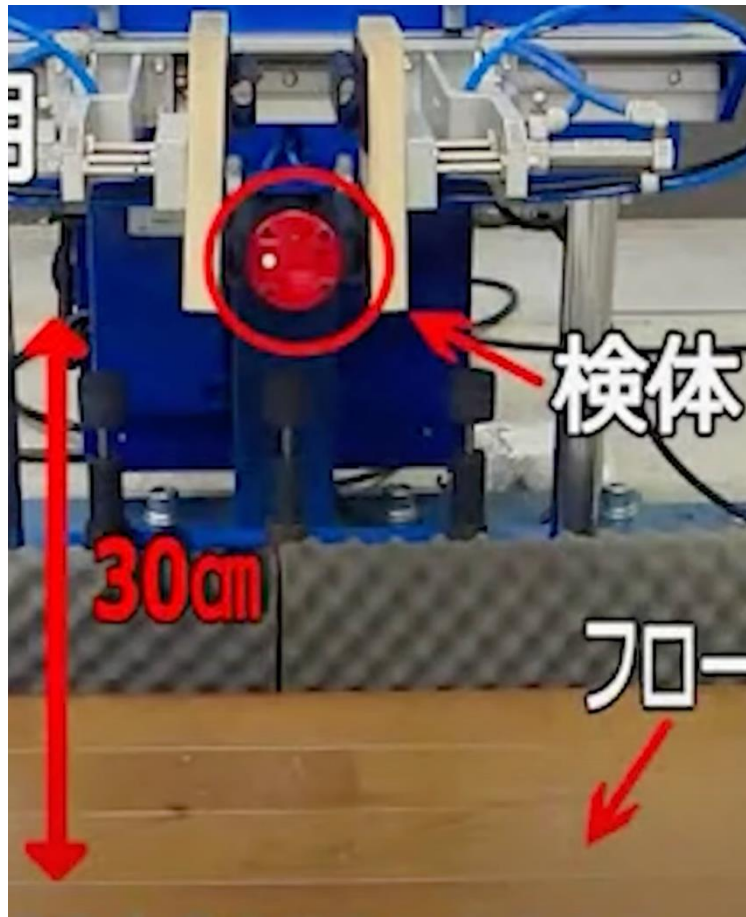


Ⓐコイン形のボタン電池(右)=画像の一部をモザイク処理していますⒷ誤ってのみ込んだボタン電池を内視鏡を使って取り出す医師=東京慈恵会医科大学提供

子どもでも開けられる蓋



30cm落ちるだけで飛び出す電池



飛び出したボタン電池



■ 誤飲事故を未然に防ぐ

- ボタン電池は子どもの手の届かないところに置きましょう。
- ボタン電池使用機器の状態にも気を配りましょう。
- 玩具は「STマーク」付きの商品を選びましょう。
- 子どもが訪問する先でもボタン電池等の管理をしっかりしましょう。

■ 誤飲事故が発生したら

- 誤飲したところを発見しても急に大きな声をかけないようにしましょう。
- 口の中のものは速やかに取り除き、飲み込んだものは無理に吐かせないようにしましょう。
- ボタン電池の誤飲が疑われる場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

誤飲した電池がわかるものを持参しましょう

(同じ電池、パッケージ、使用されていた機器など)

食物による窒息

一口サイズのこんにゃく入りゼリー
あめ玉：特に透明袋付き
プチトマト
ぶどう
ピーナッツなどのナッツ類、豆類



気管に詰まりやすい大きさ、溶け難い

丸くつるつるした食品

3才以下は食べさせない or 小さく砕く



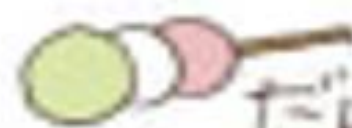
ピーナツ



枝豆



キャンディー



だんご



コンヤクゼリー



おもち



グミ

事例：食事中に食べ物で窒息

防止対策

(0歳～6歳くらい)



1. 球形の食品（プチトマト、ブドウなどの果物、飴玉、チーズ、うずらの卵など）は、吸い込みにより窒息の原因となります。4等分にして、ブドウなどの皮は除去してから与えましょう。
2. いか、エビ、貝など噛みきりにくい食材は0、1歳児には与えないようにしましょう。気管・気管支に入りやすい豆・ナッツ類は、5歳以下のこどもには食べさせないようにしましょう。
3. 食品を口に入れたまま遊んだり、話したり、寝転んだりさせないようにしましょう。また、泣いているこどもをあやそうとして、食品を食べさせるのはやめましょう。

節分の豆、0～3歳食べさせないで 「窒息の恐れ」 消費者庁、注意喚起

乳幼児が豆を食べて窒息するケースがあることから、消費者庁は節分にあわせ、「3歳ごろまでは乾いた豆やナッツ類は食べさせないでほしい」と注意を促している。消費者庁が30（昨年末時点）の医療機関から得た情報によると、0～3歳が豆やナッツ類を食べたことで起きた事故は、2010年12月からの6年間で二十数件発生。半数以上のケースで入院が必要だった。

そのうち1歳児のケースでは、節分豆を食べた後に息がぜいぜいし始めた。病院で診察したところ、気道に豆の破片が入っており、全身麻酔をして摘出したという。

消費者安全課によると、豆やナッツは形や大きさ、硬さから他の食品よりも気管に入りやすい。担当者は「特に乳幼児ののどは未発達で気管に入りやすい。窒息する恐れがあり、小さな破片でも肺炎を起こすことも。誤って口に入れないように豆まきをしたら片付けも徹底してほしい」としている。

朝日新聞2017年2月3日



リスク物品は
手の届く所に
置かない。

4cm位の標準的トイレトペーパーの芯が便利

！ 歯ブラシをくわえたままにしない！

歯みがきをしながら家の中を歩き回ると、転んで歯ブラシが突き刺さり、口の中を傷つける危険があります。歯ブラシを口にくわえたまま、歩き回らないようにしましょう。



チャイルドロック



誤嚥による窒息時の対応



2016年8月29日
朝日新聞社会面

異物による窒息時の緊急処置

0歳児の場合



こうだ 背部叩打法

- 体を支え、手のひらであごをしっかり支える
- 手のひらの付け根で背中をしっかりたたく

1歳児以上の幼児の場合



腹部突き上げ法 (ハイムリック法)

- 背後から両腕を回し、子どものみぞおちの下で片方の手は握り拳に



- その手で腹部を上方に圧迫する

2016年8月29日
朝日新聞社会面

日本小児科学会ホームページ こどもの救急

<http://kodomo-qq.jp/index.php>

誤飲した場合の共通の処置

（１）液状のものは、**皮膚や目**についてないかを調べ、付いていれば**流水で15分以上**洗いましょう。

（２）多量の水を飲ませることは、吐かせるための前処置として行う以外は止めましょう。かえって毒物を溶かしたり吸収をうながしたりしてしまいます。

異物の誤飲時に吐かせて良いか？

吐かせても良いもの	吐かせない方がよいもの
灰皿の水、タバコ	塩酸
香水、ヘアートニック、口紅	苛性ソーダ
防虫剤	トイレ洗剤
抗うつ薬	クレゾール
脱毛剤(粉末)	灯油、ライター燃料、ベンジン
パラコート	ネズミ駆除薬
除草剤	ビンやガラスの破片
有機リン酸殺虫剤	
電池	
油絵の具、ポスターカラー	

強酸や強アルカリなどの 腐食性物質を誤飲した場合の処置

- (1) 絶対に吐かせてはいけません。
 - (2) すぐに多量の牛乳を飲ませましょう。
 - (3) 必ず病院へ行って診察を受けましょう。
-
- 飲み残しのものや吐いたものを持参しましょう。

次の物質は脂溶性なので
牛乳を飲ませてはいけません。

- (1) 農 薬
- (2) 殺鼠剤
- (3) 殺虫剤
- (4) 防虫剤

お座り、はいはい

6ヶ月くらいから



買い物に付いてくるビニール袋



包装フィルム、シールなどの誤飲 による窒息

(0歳～3歳くらい)



防止対策

1. 菓子やペットボトルの包装フィルムを口に入れたり、かじったりしていると破片を誤飲・誤えんして、窒息することがあります。また、年上のこどもの遊んでいるシール、パッケージについているシール等も同様です。
2. 包装フィルムやシールがついている物、容器などで遊ばせないようにしましょう。



×



×

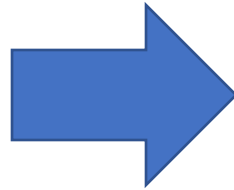


=





NG



OK



リビング

- **コンセントの差込口**はカバーをかぶせる
- 家具の角にクッション材をつける
- 化粧台の引き出しにはロックをかける
- タバコや灰皿は床から1メートル以上高い場所に置く
- ストーブなどには囲いを取り付ける

折りたたみ椅子

- 座るとき、しまうとき、指挟む事故続発



Saitama Medical Center, Saitama Medical
University

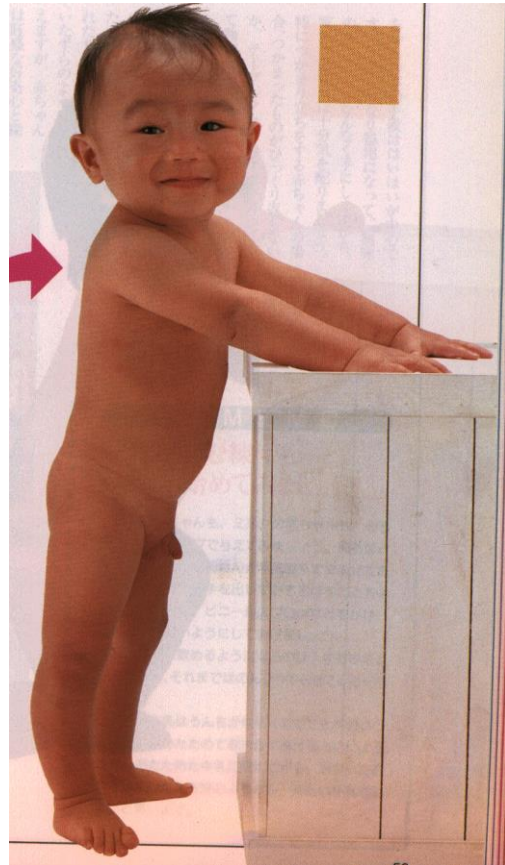
テーブルクロスをひっぱったら！



テーブルクロスは使わない！



赤ちゃんの発達に応じて危険物のチェックを！

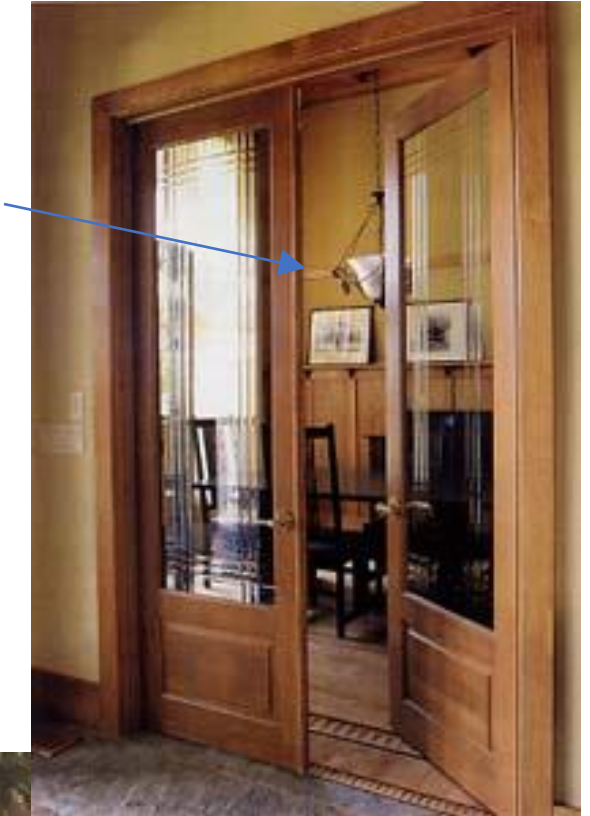


たっちが出来た！

10ヶ月過ぎくらいから

ドアの隙間・階段

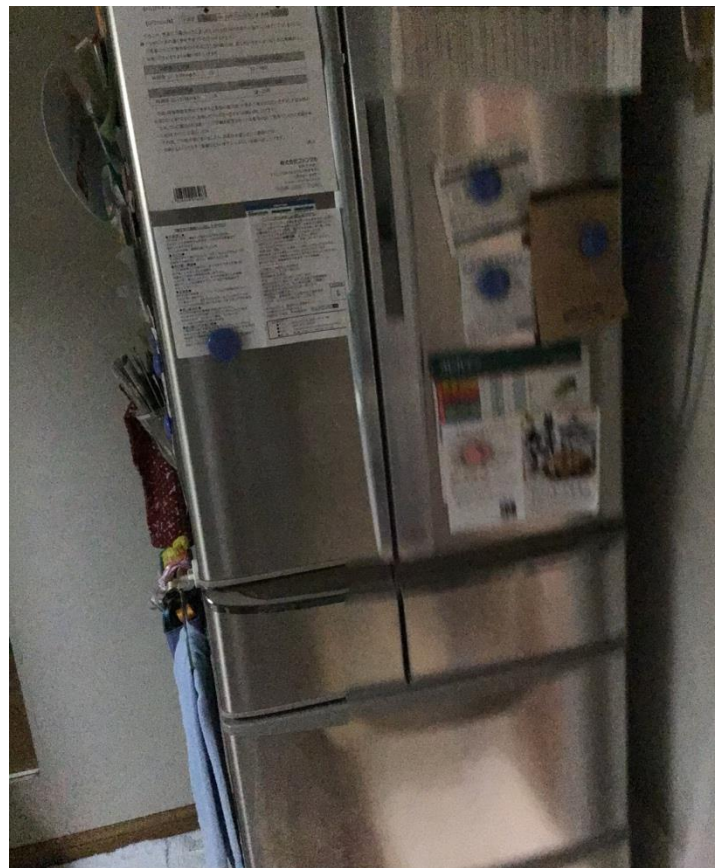
- ドアのすき間に手をはさまないようにカ
バーをつける
牛乳パック
- <https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/211500/d024119.html> 中野区 子どもの事故予防コーナー
- ガラス戸には飛散防止フィルム
- 階段の転落防止
上り口にフェンスを



キッチン・ダイニング



冷蔵庫等に付けているマグネット



下の棚の扉を開けると



ガスコンロの上には



キッチン・ダイニング

- 電気ポット、炊飯器、電子レンジは床から1メートル以上高い場所に置く
- 直径39ミリ以下の小さいマグネットは使わない
- ビニール袋は子どもの手の届かない場所、目につかない場所に保管する
- 原則的に台所には入れない（柵など）





歩き始め以降の家庭内事故

お誕生日過ぎくらいから

やけど

(予防)

- 熱いお茶やカップラーメンなどをテーブルにおいているときにはお子さんから目を離さない。
- ポットやアイロンなどをお子さんの手の届くところに置かない。
- 炊飯器の湯気も危険！



床暖房による乳幼児のトラブル

<https://www.youtube.com/watch?v=stbL7n2BkYE>

<https://www.youtube.com/watch?v=dTwV8rRi2R>

<https://www.youtube.com/watch?v=lyCjnxYUc4k0>

汗疹



赤ちゃんを床暖房に寝かせて一番怖いのは**低温やけど**

- 寝返りのできない赤ちゃんは、ホットカーペットや床暖房でも“低温やけど”を起こす危険があります。
- 接触時間が長いと熱傷は重症になる。
- 皮膚が白くテカテカするので軽く見られてしまいがちだが、直るのに時間がかかる。短くても2から3ヶ月→早く病院に連れて行く必要がある。
- 低温やけどを防ぐためには、**長時間同じ部位を温めないこ とが重要**です。

床暖房や電気カーペットでの低温やけど



床暖房や
電気カーペットの
上での赤ちゃんの
昼寝は特に
注意です。

熱傷を起こした皮膚像



低温やけど

心地よいと感じる温度
(40°C~50°C)
の長時間接触で起こる熱傷

低温火傷の注意

- 受傷してから**数ヶ月**悪化
することがある

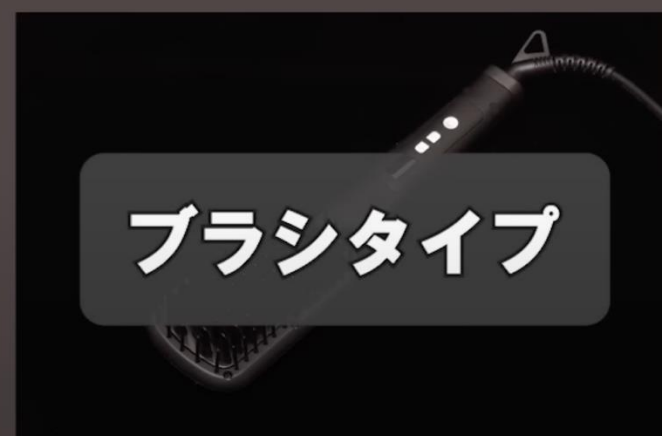
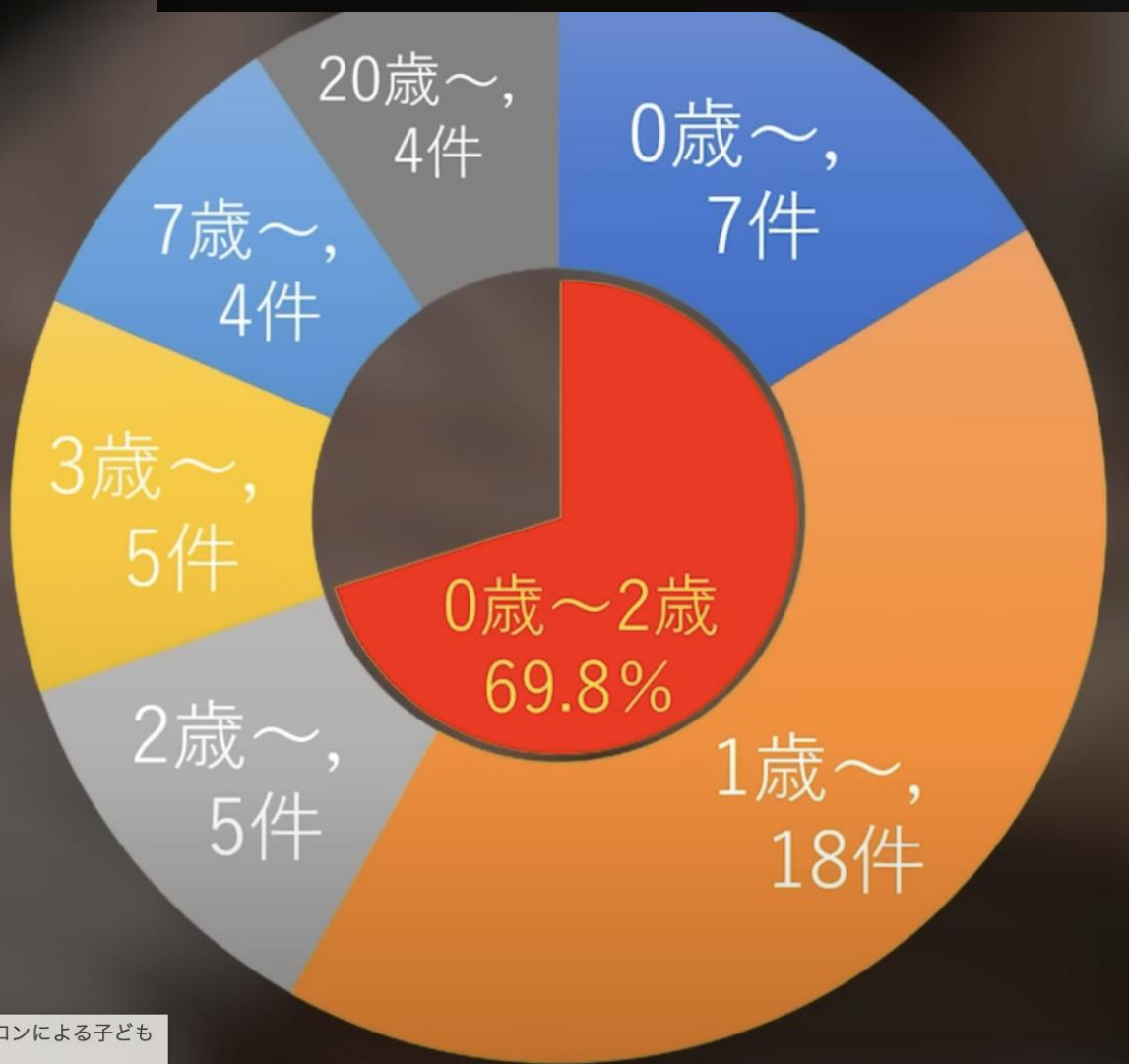
やけどの皮膚
ダメージの程度

接触温度

X

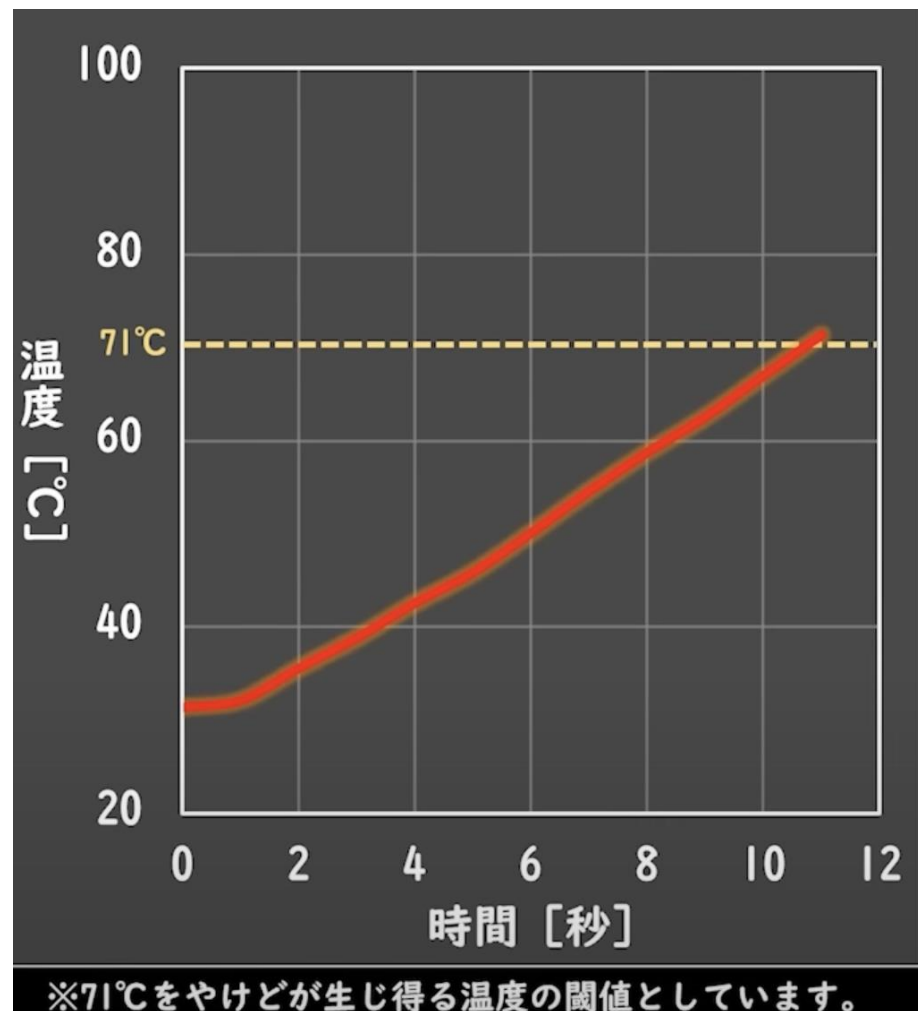
接触時間

ヘアアイロンによる子どものやけど

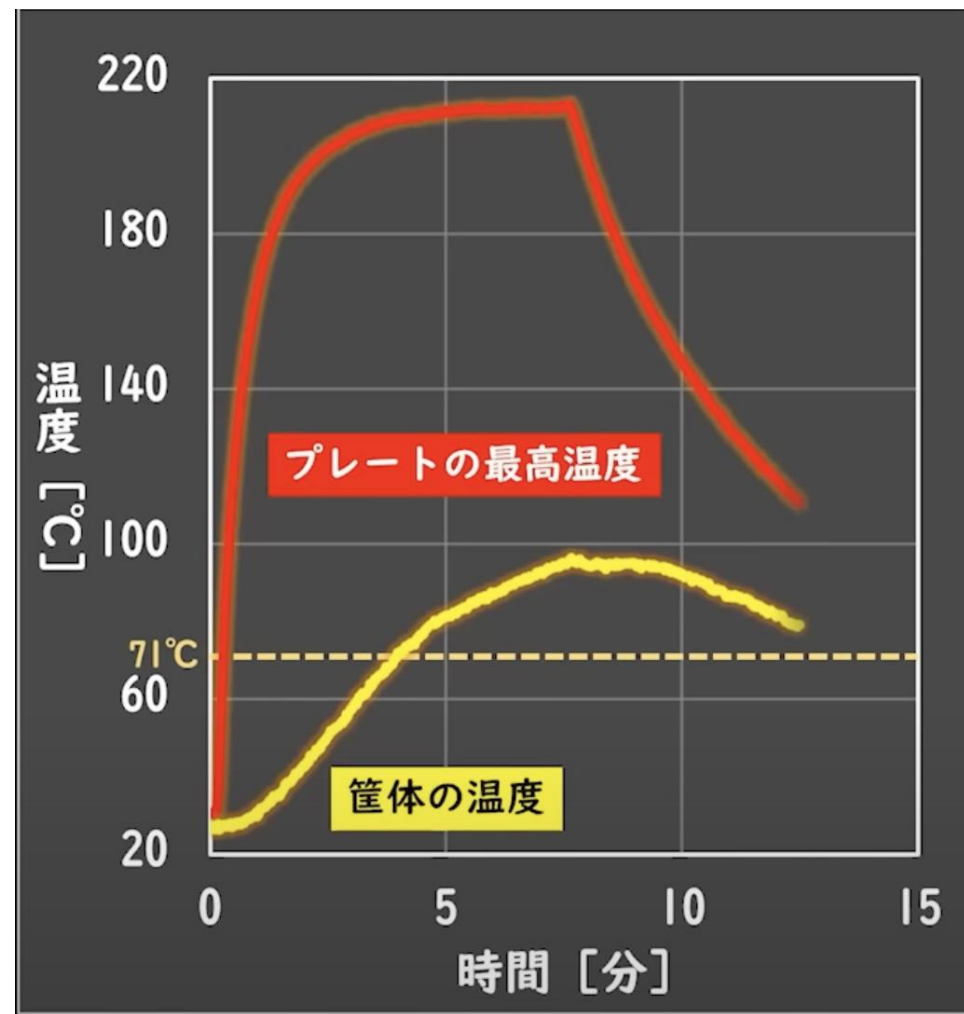


電源ONで数秒で高温、OFFにしても高温続く

電源入れて数秒で火傷温度に



電源offにしても高温が続く



ヘアアイロンによる子どもの熱傷の防止策

消費者へのアドバイス

- 子どもが近づかない場所に置きましょう。
- 取扱いには十分注意しましょう。
- 冷めるまでの間は置き場所にも十分注意しましょう。

やけどの応急処置

☆冷やすことのメリット

- ・冷やすことで皮膚深部への熱の伝達を防ぐ。
- ・冷やすと痛みも和らぐ。

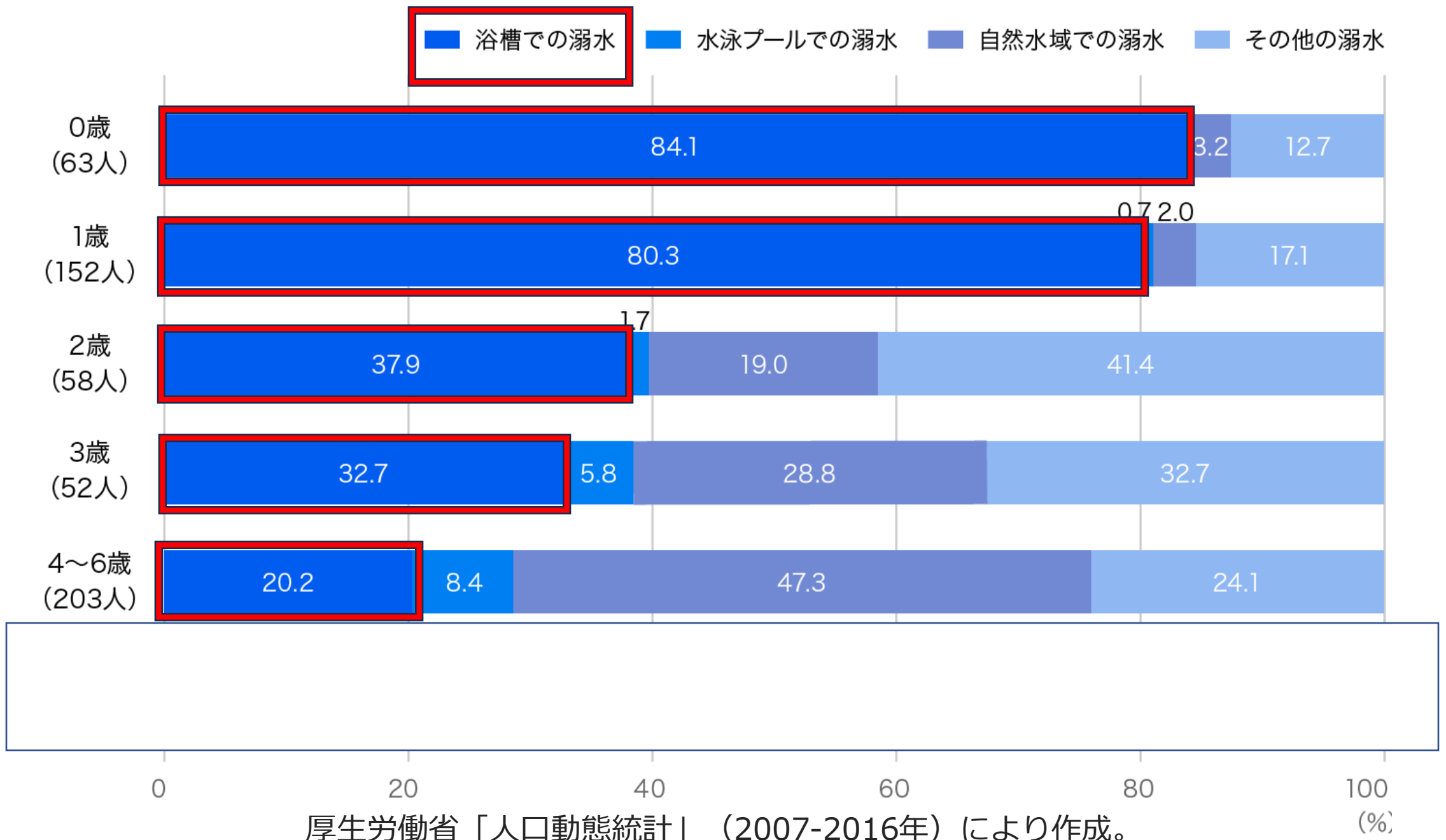
☆冷やす方法

- ・流水（水道水）や氷などを利用して冷やす。
- ・**X** 市販されている冷えるシートは、熱傷の冷却用には使えない。**X**
- ・熱いお風呂に落ちたなど、服を着たままの熱傷の場合には、**服の上から冷やす**。**最低20～30分間以上**、痛みが消失するのを目途に冷やしましょう。

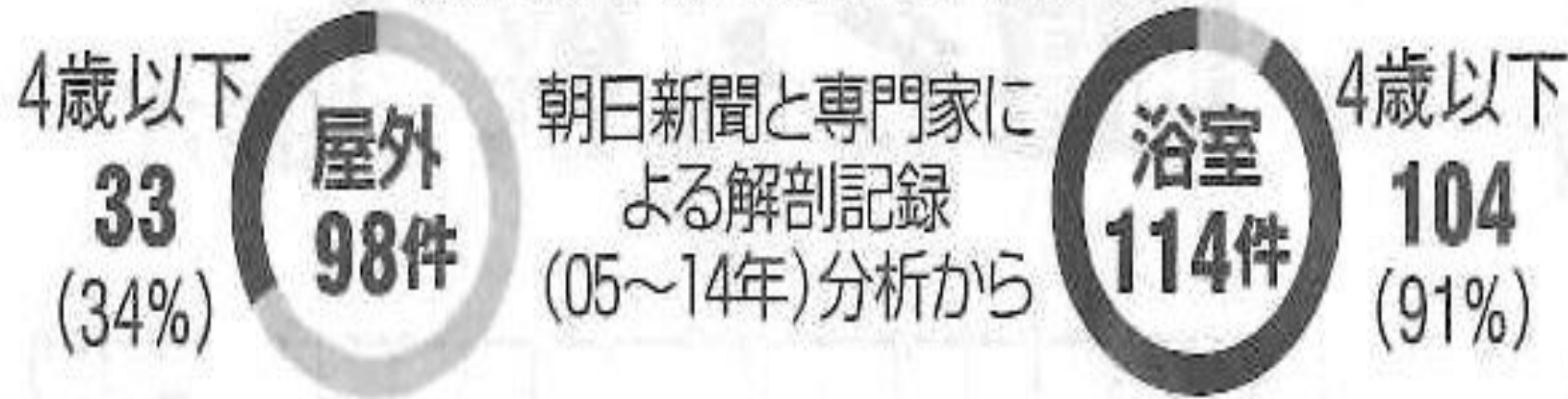
お風呂！



「溺水」の年齢別死因内訳



できし
浴室での溺死は
4歳以下が9割を占める



2016年8月31日
朝日新聞社会面

溺水

・小学生児でも！

浅いお風呂でも転倒や
石けん・洗剤の誤嚥も



入り口に鍵を付けるのが確実！

お風呂の事故

浴室での
事故のリスク
を減らすには

！
残り湯は
抜いておく



！
浴槽の縁の高さ
50センチ未満は転落
の危険

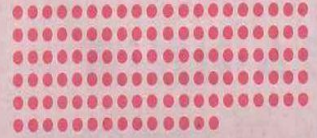
！
浴槽に
ふたをする



！
浴室か脱衣所に
鍵をかける

2016年8月31日
朝日新聞社会面

浴室での溺死 114件



食べ物の誤嚥 41件



歩き始め、食べ始め 1~2歳ごろ

自宅での事故が多い



防ぐには…

- 子どもだけで入浴させない
- 子どもの食事中はいつもそばにいて観察する



食事中に子どもが
びっくりするようなこ
とは避ける



浴槽で足入れつき
浮輪や首浮輪は使
用しない



浴室のドアを閉めたり、鍵をかけたりして
入れないようにする

縁の高さが50センチ
以下だと、乗り越え
転落するリスク

子どもが2歳になる
まで残し湯をしない

立ちが出来たら洗濯機も要注意



Saitama Medical Center, Saitama Medical University



NG



OK



浴室・洗面所・トイレ

- 浴室に入れないように鍵をつける
- 浴槽には水を残さない
- バケツや洗面器にも水を残さない
- 洗い場の床面や浴槽の底にすべり止めをつける
- シャンプーや掃除用薬品は手の届かない場所に置く
- ドアのすき間に手をはさまないようにカバーをつける
- 洗面台に物を置かない。
- 洗面台の収納扉にはロックをかける
- 洗濯機の横に踏み台となるようなものを置かない

ベランダや窓からの転落事故



相次ぐマンションからの転落死事故報告

朝日新聞デジタル > 記事

ベランダへの窓、事故前まで施錠か 転落の2歳男児が1人で昼寝中

有料記事

近藤咲子、上保晃平、鳥尾祐太 2022年11月5日 14時00分



男児が転落した高層マンション=2022年11月2日午後3時22分、千葉市美浜区、鳥尾祐太撮影

千葉市 美浜区 の高層マンションの25階から男児（2）が転落死した事故で、ベランダにつながる窓は事故前まで施錠されていたとみられることが4日、捜査関係者への取材でわかった。男児が1人で昼寝中に一時自宅を離れていた家族が戻ったところ、解錠されていたという。千葉県警が転落の経緯を調べている。

朝日新聞デジタル > 記事

マンション4階から転落か 2歳男児死亡 大阪府豊中市

2022年11月5日 21時16分



5日午前9時45分ごろ、大阪府 豊中市 長興寺北3丁目の4階建てマンション敷地内で、「子どもが耳から血を流してぐったりしている」と通行人から110番通報があった。府警豊中署によると、倒れていたのはマンション4階に住む男児（2）で、搬送先の病院で死亡が確認された。

子どもが住居などの窓やベランダから転落し死亡する事故が多く発生しています。
厚生労働省「人口動態調査」、東京消防庁「救急搬送データ」及び医療機関ネットワーク事業の事故情報を消費者庁で分析したところ、

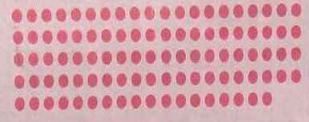
- ◆ 窓を開けたり、ベランダに出る機会が増えたりする夏頃から転落事故が増加
- ◆ 子どもの中でも3～4歳の転落事故が最も多い
- ◆ 2階からの転落でも入院が必要な中等症と診断されている事例が多い
- ◆ 窓が開いた部屋で子どもだけで遊んでいて発生する事例が多い

ことが分かりましたので、注意が必要です。

ベランダ



プールなど
自宅外での溺死 98件



転落・転倒 42件



外遊びが始まる 3歳ごろ～

屋外での事故が増える



防ぐには…

- ベランダや窓の手すり柵の高さは90センチ以上に
- 屋外での水遊びの場合は、ライフジャケットを着用する



階段には転落予防の柵をつける

窓際に
ベッドやソファや
椅子を置かない



踏み台となるものは
窓や壁から60センチ以上
離す





ベランダが危ない

NPOが写真もとにアドバイス

「幼児の転落事故が起きそうなベランダとは？」と聞かれたらどんな場所を想像しますか。事故予防に取り組むNPOが家庭のベランダ写真を募って調べたところ、踏み台となる物がある場合だけでなく、柵の構造そのものが危険という「盲点」も見つかりました。

調査したのは、東京都内のNPO法人Safe Kids Japan。幼児がベランダから転落する事故が毎年相次いで起きているとをうけ、昨年10月から今年3月、インターネットを通じて、実際に使っているベランダの写真や、柵の高さ、ベランダの奥行などのデータを募集し、投稿された42件を調べた。

▶物を置くべからず

「ベランダは危ないから出たらだめ」と教えても、大人と同じようにには理解できない場合があるためだ。幼児がベランダに出ないように、大人が常に見守ることも限界があるため、環境の改善が有効だ。

NPO理事で、事故予防を研究する産業技術総合研究所・首席研究員の西田幸宏さん(46)によると、

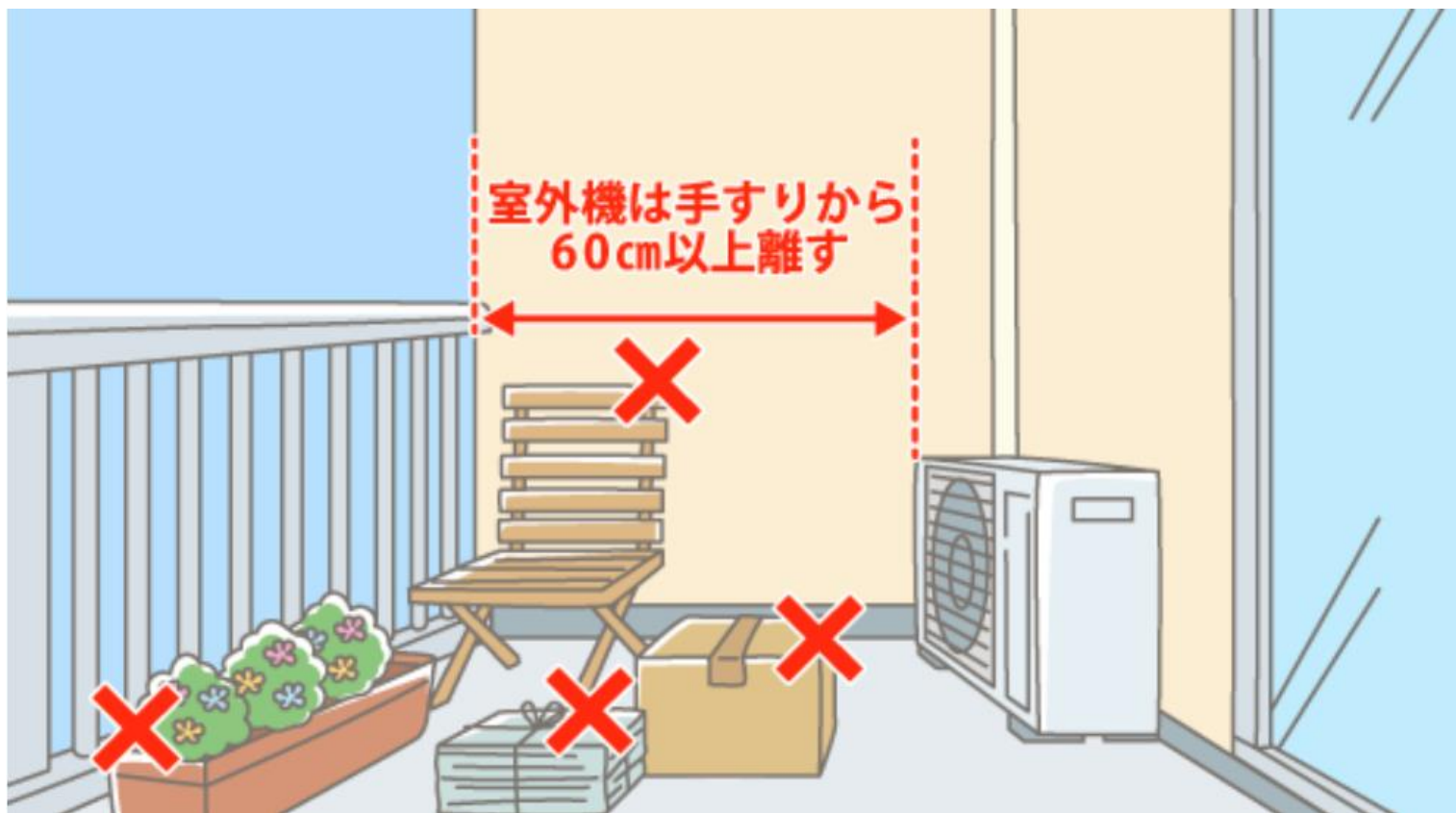
「ベランダは危ないから出たらだめ」と教えても、大人と同じようにには理解できない場合があるためだ。幼児がベランダに出ないように、大人が常に見守ることも限界があるため、環境の改善が有効だ。

▶補助鍵で出られないように

「ベランダは危ないから出たらだめ」と教えても、大人と同じようにには理解できない場合があるためだ。幼児がベランダに出ないように、大人が常に見守ることも限界があるため、環境の改善が有効だ。

朝日新聞社会面
2017年4月17日

ベランダからの転落防止対策



部屋の窓からの転落と防止策



室内の窓の近くに物を置かない

転落防止策

ベランダや窓のある部屋には椅子やビールケースなど**踏み台**となるようなものを置かない。

子どもがひとりで勝手に外に出られないようにガラス戸や窓の開閉間隔を調整する（**広く開かないようにする**）。

補助錠を付ける



2016年9月2日
朝日新聞社会面

予防策小括

固めの敷き布団

添い寝は避ける

うつぶせ寝を禁忌

口に入るおもちゃで遊ばせない

- 中毒

薬品は手の届かない場所に鍵を掛けて保管

中毒情報の電話番号を控えておく

- 階段、窓、ベランダ

転落防止のための保護柵, 鍵

監視、一人にしない

- 風呂：大人が使っていない時は外から鍵をかける。

危険な場所と事故防止対策（まとめ）

階段：上と下にフェンス。

浴室：子どもの手の届かないところに鍵をつける。

こどもだけでは決して遊ばせない。フェンス。

台所：料理中は台所に入れない。引き出しや戸棚に鍵。

トイレ：消毒薬・洗剤は手の届かないところに。

ドア、引き出し：

鍵をかけるか逆に完全に閉まらないようにしておく。

コンセント：電気栓

角のある家具：発泡スチロールで保護。

本棚：壁に固定する。上段に子供の興味を引く物を置かない。

薬箱、化粧台、洗剤、殺虫剤：

手の届かないところに置くか鍵をかける。

小さなおもちゃ、アクセサリ：直径3-4 c mの筒の中をとおる大きさのものは赤ちゃんの口に入る！！

車：年齢にあったチャイルドシート、ドアと窓の安全装置。

誤飲・誤嚥して 緊急相談したいとき



日本中毒情報センター

財団ホームページ

<https://www.j-poison-ic.jp>

大阪:**072-727-2499** (365日24時間)

つくば:**029-852-9999** (365日9時～21時)

■医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1件につき2,000円)

大阪 :**072-726-9923** (365日24時間)

つくば:**029-851-9999** (365日9時～21時)

事故防止対策を調べたいときインターネットの情報

- 政府広報オンライン: ご注意下さい！窓やベランダからの子どもの転落事故
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202107/3.html>
- Love&Safetyこどもを事故から守るプロジェクト <http://www.love-safety.jp>
- 日本小児科学会 こどもの救急 <http://kodomo-qq.jp>
- **子どもの事故防止ノート** – 日本小児看護学会
http://jschn.umin.ac.jp/files/201210_kodomonote.pdf#search
- **子どもの事故防止はんどブック**: こども家庭庁 <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/handbook/>
- 警視庁 子どもの交通事故防止
<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/kids/index.html>
- **子どもの事故予防ハンドブック(東京都 事故防止情報等リ・デザイン事業)**
<https://kodomosafetypj.metro.tokyo.lg.jp/about/redesign/>

注目情報

相談事例

相談・紛争解決
／情報受付

研修・相談員資格
／研修施設

ライブラリ

当センターについて

現在の位置：[トップページ](#) > [注目情報](#) > [発表情報](#) > 子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけましょう！－電池の放電によるアルカリで消化管が損傷します－

[2024年7月31日:公表]

子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけましょう！－電池の放電によるアルカリで消化管が損傷します－

*詳細な内容につきましては、本ページの最後にある「報告書本文[PDF形式]」をご覧ください。

コイン形リチウム電池やボタン形アルカリ電池などを誤飲した場合、電池の放電により作り出されたアルカリによって、食道や胃などの消化管を損傷（化学やけど）する危険性があり、過去には死亡事故も発生しています。

ボタン電池の誤飲防止に関しては、2014年に消費者庁や当センターが注意喚起を行い、2018年には国内の電池業界で誤飲防止パッケージが採用されるなど、様々な事故防止の取組みが行われてきましたが、「[医療機関ネットワーク](#)」や「[医師からの事故情報受付窓口](#)」には現在も事故情報が寄せられています。

事故情報の中には入院を必要としたケースも見られ、更に処置が遅れば重篤な事故につながる恐れがあります。ボタン電池の誤飲が極めて危険であることに変わりはないことから、子どものボタン電池の誤飲事故の未然防止・拡大防止のため、消費者へ注意喚起を行います。

動画【YouTube】

【子どものボタン電池の誤飲事故に注意】

注目情報

> [発表情報](#)

> [テーマ別特集](#)

> [リーフレット「くらしの危険」](#)

[見守り情報（高齢者・障がい者・子ども・若者のトラブル防止）](#)



相談したい
(消費生活センター等一覧)



テーマ別特集
(ネットトラブル、高齢者被害…)

ご静聴
有り難う御座いました。

埼玉医科大学総合医療センター

小児科名誉教授

田村正徳